

年報

—平成 2 年度—

VOL.9

平成 4 年 3 月

長野市立博物館

\mathcal{L}_enc

\mathcal{L}_dec

\mathcal{L}_cls

\mathcal{L}_reg

\mathcal{L}_con

序

長野市立博物館の平成 2 年 4 月
から平成 3 年 3 月までの活動と、
利用の状況をまとめ、ここに年報
第 9 号を発行します。

平成 4 年 3 月

長野市立博物館



目 次

I 博物館日誌	1
1 長野市立博物館一年の歩み	1
2 茶臼山自然史館一年の歩み	2
II 事業報告	3
1 展示	3
2 天体学習室	8
3 移動博物館	11
4 教育普及	12
5 調査研究収集	20
6 収蔵資料整理	22
III 博物館収蔵資料	23
1 購入資料	23
2 寄贈資料	24
3 寄託資料	39
IV 博物館管理・運営	39
1 平成2年度歳出当初予算概要	39
2 管理委託業務	40
3 利用状況	40
4 情報・案内	41
5 入館者状況	42
V 彙 報	45
1 長野市立博物館協議会	45
2 組織	46

I 博物館日誌

1 長野市立博物館1年の歩み

- | | |
|--|--|
| 4月3日 専門主事として常盤真重が庶務係に着任 | 7月19日 考古学教室遺跡発掘見学会実施 |
| 4月7日 芦井公民館にて移動展「教科書今昔」開催 | 7月22日 日食を観測 |
| 4月11日 公園内の桜が満開となる | 7月25日 歴史教室松代史跡めぐり実施 |
| 4月19日 3月初めより行っていた大室23号墳
移築復原工事がほぼ完了 | 7月28日 プラネタリウム夏の番組「巨大隕石
の謎」投影開始 |
| 4月21日 古文書教室（初心者コース）開講 | 7月29日 考古学講座講演会実施（講師 小林
秀夫氏） |
| 4月27日 大室23号墳羨門に扉がつき、完成、
歴史収蔵庫前室にマイクロカメラとマイクロ
リーダーを設置 | 7月31日 博物館実習生3名受入 |
| 4月29日 今年度最初の「星空の散歩道」を実施 | 8月5日 歴史講座講演会実施（講師 井原今
朝男氏）、箕輪町郷土資料館職員4名来館 |
| 5月5日 「子供の日」のため、小中学生無料 | 8月8日 歴史教室北国街道見学会実施 |
| 5月12日 歴史講座開講 | 8月9日 考古学教室古墳見学会実施 |
| 5月15日 北信越博物館協議会（富山県立山町）
に唐沢出席、佐世保市議会議員一行視察 | 8月10日 移動天体観望会を七二会地区で実施 |
| 5月17日 考古学教室遺跡見学会実施 | 8月11日 歴史教室北国街道見学会実施、移動
天体観望会を徳間にて実施 |
| 5月19日 プラネタリウム春の番組「おかしな
円卓会議」投影開始、中氷鉛青木家文書寄託
受入、天体観望会実施 | 8月21日 松代地震センター運営打合せ会議に
大蔵出席 |
| 5月23日 戸田市立郷土博物館協議会一行12名
視察 | 8月23日 公害環境課主催のスタートウォッチン
グ実施 |
| 5月24～25日 当館にて長野県博物館協議会総
会開催 | 8月28日 考古学教室大室古墳見学会実施 |
| 6月9日 古文書教室（中級コース）開講 | 9月3日 松代城発掘調査開始 |
| 6月16日 プラネタリウムCDコンサート実施、
中野市職員プラネタリウム視察 | 9月14日 歴史講座開講 |
| 6月20日 考古学教室遺跡発掘見学会実施、石
川県穴水町職員来館 | 9月15日 プラネタリウム秋の番組「韋駄天マー
キュリー」投影開始 |
| 6月23日 天体観望会実施 | 9月22日 プラネタリウムCDコンサート実施 |
| 7月1日 特別展「地図でみる村と町」開催 | 9月23日 開館9周年記念日につき、無料開放 |
| 7月7日 竹細工教室実施 | 9月29日 信州大学留学生25名来館 |
| 7月10日 受付に新しい券売機を導入 | 9月30日 考古学教室土器作り開講 |
| 7月11日 高岡市及び狭山市教育委員会職員視
察 | 10月1日 プラネタリウム研究会出席のため、
館長・大蔵が松本に出張 |
| 7月14日 古文書教室実施 | 10月6日 民俗教室竹細工実施 |
| 7月15日 民俗講演会実施（講師 倉石忠彦氏） | 10月7日 特別展「蚕糸業にみる近代の長野盆
地」開催 |
| | 10月18日 考古学教室遺跡発掘見学会実施 |
| | 10月20日 移動天体観望会芦井地区にて実施 |
| | 10月21日 天体写真教室実施 |
| | 10月26日～27日 日本博物館協会大会参加のた |

め原補佐金沢市へ出張

10月28日 考古学教室土器作り野焼きを実施

10月30日 富士吉田市教育委員会視察

10月31日 松代城発掘調査終了

11月3日 特別展記念講演会実施（講師 上山和雄氏）

11月7日 千葉県印旛郡市文化財センター大澤孝氏来館

11月8日 歴史教室古代東山道を訪ねて実施

11月13日 石家荘市より8名視察

11月14日 熊谷市教育委員会職員視察

11月18日 歴史講座講演会実施（講師 古川貞雄氏）

11月20日 群馬県立歴史博物館学芸員2名来館

11月27日 魚津市教育委員会職員2名視察

12月1日 プラネタリウム冬の番組「客星現れる」投影開始

12月2日 民俗教室ワラ細工実施

12月6日 港区職員2名視察、漆研究会9名（歴博・東博・奈文研など）来館

12月8日 天体観望会実施

12月10日 市議会経済文教委員会に副館長出席

12月16日 古文書教室実施

12月23日 プラネタリウムCDコンサート実施

12月24日 ロビーにてもちつき実施

12月28日 仕事納め

1月4日 仕事始め

1月15日 川崎市民ミュージアム学芸員小坂広志氏来館

1月19日 天体観望会実施

2 茶臼山自然史館1年の歩み

4月24日 宮下勝氏（伊那市）より化石岩石標本の寄贈を受ける

4月26日 外壁にクビナガリュウのモザイク鉄製パネルを設置

4月29日 ステゴドンの牙を展示

5月19～20日・27日 化石教室実施

5月25日 県博物館協議会一行45名来館

6月9日 ステゴドンゾウの臼歯展示

7月15日 特別展「いろいろな化石・岩石」開催（9月24日まで）

1月20日～26日 館内くん蒸のため休館

1月22日 社会教育委員会に副館長出席

1月25日 移動展「市民参加の博物館活動より」開催

2月1日 歴史講座実施

2月2日 古文書教室（中級）開講

2月3日 考古学講座開講

2月4日 博物館等関係職員研修会に山口・前島が出席（於：信濃美術館）

2月15日 県博物館協議会役員会に副館長出席

2月17日 特別展示室にて「善光寺平を掘る」開催（主催：県埋蔵文化財センター）

2月21日 岡山市教育委員会職員3名視察、群馬県埋蔵文化財事業団飯島義雄氏及び平出考古博物館職員2名来館

3月1日 博物館協議会開催

3月2日 プラネタリウム春の番組「注文の多いプラネタリウム」投影開始

3月5日～7日 プラネタリウム研究会に大蔵出席、山口・前島は京都・広島方面へ視察研修

3月11日 長野県プラネタリウム連絡協議会に館長・大蔵出席

3月14日 浅科村五郎兵衛記念館に原田出張

3月16日 事務室前に情報掲示版設置

3月22日 経済文教委員会に副館長出席

3月23日 プラネタリウムCDコンサート実施

3月28日 和田東山古墳群明治大学調査団測量調査のため来長（4月6日まで）

3月31日 本日をもって自然史館唐沢茂学芸員退職

7月27日 千葉大学教授脇原氏来館

8月3～4日 化石教室実施

8月11日 県下教職員35名臨地講習で来館

10月15日 今年度入館者1万人を越す

10月17日 ステゴドンゾウ臼歯鑑定のため信州大学亀井節夫教授研究室に搬入

10月20日 碧南市青少年海の科学館学芸員来館

12月1日 横浜国立大学教授長谷川氏来館

3月7日 案内看板3か所に設置（篠ノ井布施五明ほか）

II 事業報告

1 展示

1) 博物館常設展示

常設展示室における展示の構想、構成等は開館以来基本的には変わらないが、必要に応じて随時更新を行っている。本年度は2件について行った。

●「長野盆地」コーナー

これまで「長野盆地のおいたち」と題してスライドによる解説を行っていた。しかしながら機器の老朽化に伴ない、故障することが多くなったため、スライドからビデオに映像ソフトを制作し、入れ替えた。

2) 茶臼山自然史館常設展示

常設展示室の構想・構成は基本的には変わらないが、分館においても必要に応じて、随時追加更新を行っている。本年度は5件の資料を追加した。

(古生代) ストロマライト

ウミユリ

(中生代) エドモントサウルスの歯

モササウルスの歯

(新生代) ステゴドンゾウの歯と臼歯

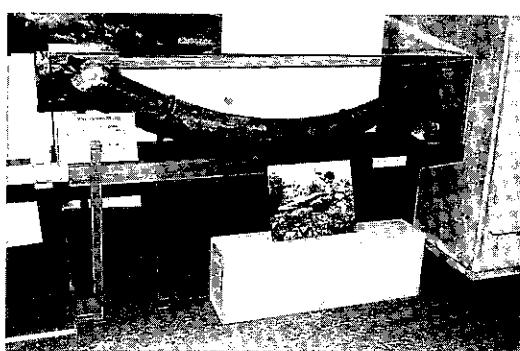
(その他) 玄関ホールの化石などを教室に移動、また教室内に岩石を大別（堆積岩・火成岩・変成岩）して並べた。

●「川中島の戦い」コーナー

川中島の戦いの様子はこれまで三面マルチスライドを使って解説していたが、故障の続出、情報のわかりにくさなどが指摘されるため、これもビデオ映像ソフトを制作し、ビデオプロジェクターに更新した。



「川中島の戦い」映像コーナー



ステゴドンゾウの歯と臼歯

3) 特別展示

(A) 第26回特別展「地図にみる村と町」

(1) 期間 平成2年7月1日～8月26日
(実質開館日数50日)

(2) 出版物 A2版多色刷りポスター

(3) 趣旨

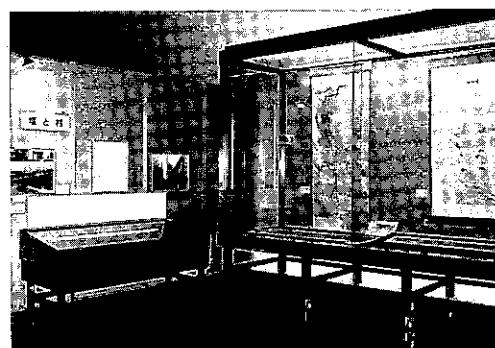
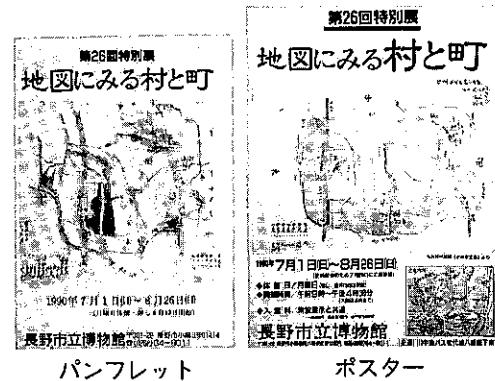
博物館資料のなかには、江戸時代から明治の初期にかけての多くの村絵図が収蔵されています。これらを、わかりやすいテーマをもうけて、公開することに主眼をおいた。収蔵資料ではまかねえないテーマについては、個人蔵の資料を借用して展示した。

(4) 展示構成(テーマ)

- | | |
|--------|----------|
| ① 村絵図 | ⑦ 堀と村々 |
| ② 裁許絵図 | ⑧ 御林・入会山 |
| ③ 村境 | ⑨ 道 |
| ④ 普請 | ⑩ 宿場町 |
| ⑤ 地租改正 | ⑪ 寺社 |
| ⑥ 堀守 | ⑫ 城下町 |

(5) 展示資料目録

No.	資料名	展示区分	備考
1	《村絵図》 今井村絵図	☆	島田尚光氏蔵(長野市)
2	同 上	☆	小林家文書(当館蔵)
3	村見取り図(雛型)	☆	青木家文書(寄託資料)
4	今井村村絵図	★	小林家文書
5	下堀及び中水鉋村村絵図	★	
6	《裁許絵図》 飯綱原争論裁許状	○	芋井広瀬区寄託
7	同 冊子	○	同 上
8	《村境》 村境絵図	☆	青木家文書
9	千曲川・犀川之間村々絵図	★	小林家文書
10	《普請》 千曲川名所大屋橋付近、道流失につき絵図	☆	青木家文書
11	稻荷山宿松本往還普請願い箇所見取絵図面	☆	同 上
12	犀川上水下堀絵図今里村地内分水古今絵図	★	小林家文書
13	手塚村田方用水堀・二之堀・三之堀舌喰堀 掛入堀御普請願い場所見取絵図面	☆	青木家文書 同 上
14	中之条村川除見取絵図	☆	
15	常田村踏入村田方用水堀普請願い場所見取 絵図面	☆	青木家文書 小林家文書
16	千曲川国役普請絵図	★	同 上
17	塩崎村千曲川国役御願立図	★	
18	《地租改正》 地順帳	○	当館蔵
19	地券	○	酒井家文書(当館蔵)



「地図にみる村と町」展示

No.	資料名	展示区分	備考
20	地租改正切絵図	☆	青木家文書
21	字一筆限地図帳	★	小林家文書
22	《堰守》		
23	国役普請絵図	○	飯島澄夫氏蔵（長野市）
24	堰守関係資料	○	同上
25	同上	○	中沢袈裟延氏蔵（長野市）
26	犀口三堰場口線穴御用水図	○	小林家文書
27	《堰と村々》		
28	下堰絵図面	☆	青木家文書
29	川中島三堰絵図面	☆	同上
30	上中堰絵図面	○	浦野家文書（当館蔵）
31	下堰絵図面	○	同上
32	揚水堰絵図面	○	小林家文書
33	《御林・入会山》	★	
34	御林借地絵図	★	青木家文書
35	入会山道標間尺絵図	★	小林家文書
36	御林見取図	★	青木家文書
37	今井村入会山割絵図	★	小林家文書
38	《道》		
39	今井村地内道路調査絵図	★	小林家文書
40	同上	★	同上
41	《宿場町》		
42	原宿町割図	○	岡沢家文書（当館寄託）
43	《寺社》		
44	稻荷山村寺社絵図	○	青木家文書
45	長雲寺絵図	○	同上
46	《城下》		
47	松代城下絵図	○	浦野家文書
48	文武学校見取図	○	同上

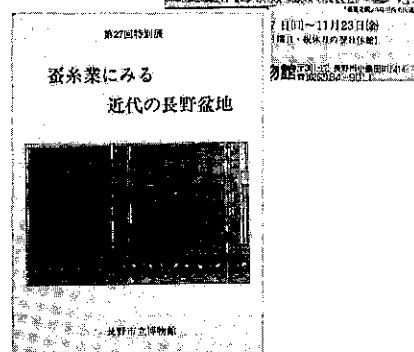
☆は前期（7月1日～7月29日）・★は後期（7月31日～8月26日）・○は全期の展示品

(B) 第27回特別展 「蚕糸業にみる近代の長野盆地」

- (1) 期間 平成2年10月7日～11月25日
(実質開館日数40日)
- (2) 出版物 A2版多色刷りポスター
A4版両面刷り二ツ折りパンフレット
B5版展示図録（64頁）
- (3) 趣旨

長野県は、戦前にあっては「蚕糸王国」といわれ、蚕糸業が経済の中心でした。長野盆地にあっても近代の歴史を考える上で、忘れてはならないのが蚕糸業でした。本展示にあっては、松代藩の専売制から、西条村につくられた六工社とそれらに関わった人々に触れ、そこに働いた女工についても考えました。

また、民俗的見地から、養蚕をめぐる習俗、生産に関する諸道具から、オカイコサンとのつながりについても考えました。



パンフレット・図録

(4) 展示構成

① 近世から近代へ

いろいろな養蚕書・吾妻銀右衛門・松代藩の専売制と八田家・横浜開港以後の松代藩

② 近代蚕糸業

六工社と和田英・女工の生活・糸をとる

③ 養蚕をめぐる風俗

養蚕用具(掃立て・給桑・上簇・織る)・
カイコを祀る

(5) 催 物

講演会 「長野県の蚕糸業」

上山和雄氏(國學院大学教授)

11月3日(日)

(6) 展示資料目録

(敬称略)



西条村六工製糸場之図

資料名	員数	所蔵者	備考
養蚕秘書	1	当館	
養蚕新論	3	"	
「まゆかく」	1	"	錦絵
「はきおろし」	1	"	"
「蚕あがり」	1	"	"
吾妻家文書		長野市松代町 吾妻秀一	
「桑畑書上帳」	1	青木家文書 当館	青木十郎寄託
閑屋御林絵図	1	浦野家文書 "	
上田藩産物改め所鑑札	1	上田市立博物館	
松代騒擾記	1	長野市稻里町中氷鉋 青木十郎	
「海防八策」	1	松代藩文化施設管理事務所	佐久間象山
「浦賀紀行図」	1	"	
「御貿易場」	1	横浜開港資料館	瓦版
午札	1	八十二文化財団	
太政官札	2	当館	
富岡日記	1	当館	
御雇仏国人フムエナ条約書	1	"	中沢泉寄託
工女勉強之図	1	上田市常田館	和田一雄寄託
六工社使用釜	1	当館	笠原工業㈱
褒章状	1	"	六工社跡採集
西条村六工製糸場之図	1	県立長野図書館	錦絵
六工社規約	1	羽田家文書 県立長野図書館	
輸出生糸品質調査	1	" "	
出品解説書	1	" "	
松代蚕種予約申込書	1	" "	
松代蚕種 営業案内	1	" "	
生糸輸出統計掛軸	1	上田市上田原 堀内道彦	
本六工社工女賞状	1	長野市松代町 赤塚政文	
女工約定書	1	羽田家文書 県立長野図書館	
六工社寄宿舎名簿	1	当館	和田一雄寄託
製糸工女取締申合規約	1	県立長野図書館	
足踏み座縄	1	岡谷蚕糸博物館	
"	1	須坂市立博物館	
"	1	長野市立西条小学校	

資料名	員数	所蔵者	備考
足踏み座縄	1	岡谷蚕糸博物館	
揚返し機	1	"	
座縄器	2	当館	
養蚕掛軸	1	長野市川中島 島田尚光	
種紙	5	当館	
掃立用羽	1	"	
千両社看板	1	須坂市立博物館	
種紙たな	1	"	
クワボテ	1	当館	
クワキリガマ	1	"	
クワキリ包丁	1	"	
クワキリ台	1	"	
クワコキ	1	"	
クワキリ機	1	"	
クワキリツメ	1	"	
カイコダナ	1	"	
カイコカゴ	1	"	
アミ	1	"	
給桑台	1	"	
マブシ	2	"	
回転マブシ	1	"	
スクラオリ	3	"	
ケバトリキ	1	"	
機織り機		"	
皆神神社お礼	2	"	
養蚕神社幡	2	"	
中条村蚕さま		中条村 百瀬区	
蚕神掛軸	2	小島田町 岡沢由往	
オンナガミサン	1	長野市莘井 小林保一	
猫絵	1	群馬県立歴史博物館	
オキヌサン人形	1	"	
蚕影山	1	"	
ザ・シルク		学研・東京農工大纖維博物館	石造・複製
富岡日記一和田英の軌跡		信越放送	ビデオ
			"
			北河原区寄託

(C) 自然史館第5回特別展

「いろいろな化石・岩石」

(1) 期間 平成2年7月13日～9月24日

(実質開館日数62日)

(2) 出版物 A2版一色刷りポスター

A4版両面刷り二ツ折パンフレット

(3) 趣旨 開館以来自然史館に寄贈・寄託された資料を一般に展示公開するために企画した。化石だけでなく岩石も多いのでいろいろな化石・岩石と名づけた。

(4) 展示構成

① 化石による時代区分

先カンブリア時代・古生代・中生代・新生代の各時代に見られる生物

② 岩石の三大分類

火成岩・堆積岩・変成岩の産状を図示する

③ 長野市西部山地の貝化石

西部山地から産出する主な貝化石



パンフレット・ポスター

2 天体学習室（プラネタリウム）

1) 概要及び運営方針

当館の天体学習施設としてのプラネタリウムは、ドームの直径が12m、座席数が120で演出しやすい一方向座席となっている。（機械は五藤光学G X-A T）

平日は学校教育の一環として理科教育センターが学習投影を行い、土曜・日曜・祝休日、そして春休みと夏休みに当館が一般向けに投影している。なお、一般投影はプログラムを組んで行うオート投影で、録音と原画作製以外は自主製作している。

本体は、実際の星空を見てその美しさを十分に味わってもらいたいのであるが、天候や時間帯など、なかなかそれができない事が多いのが現状である。そこで、少しでも多くの人が（星が好きな人も、そうでない人も）気軽に、そして楽しく星空を見てもらうために、季節ごとに話題を変えて投影している。

プラネタリウムの中はいつも快晴で満天の星である。これが実際の星空を見る案内人としての役目を少しでも果たせればと考えている。

そして、最終的には本当の星や星座を自分で探せるように、というのが切なる希望である。

投影番組制作に当たり、外部委託は次のとおりである。

録音及びテープ製作……(株)長野トップ

原画製作……永野裕子

2) 投影内容

(1) 初夏の番組「おかしな円卓会議」 No.36

① 投影期間 平成2年5月19日～7月22日

② 内容

世界5カ国の著名な天文学者たちにある手紙が舞い込んで来た。その手紙の内容は、日本（中部地方）で緊急宇宙論会議を開くというもので、議題は「宇宙の大きさを考える」というものであった。

さっそく集まった天文学者は、アメリカからプッシュさん、イギリスからヨッチャーさん、ソ連からコロブチョワさん、中国から毛沢山さん、そして、日本からはトシチャンという、そうそうたるメンバーであった。

5人は、昔プラネタリウムの解説をやったことがあるというヨッチャーさんの案内で、日本の美しい初夏の星座を楽しんだ後、宇宙が有限であるかどうかということを皮切りに、活発な議論をしていった。そんなさなか、ときどき夜空に何か光るもののが見えかくれしているのに気が着くが、それがいったい何であるのかわからなかった。まじめに？また時には冗談が混じるこの会議の結末は驚くべきものがあった。

③ 声の出演 劇団空素

⑤ 入場者数 2,651人

④ 投影時間 33分



パンフレット



日本の天文学者「トシチャン」
に一通の手紙がきた

(2) 夏の番組「巨大隕石の恐怖」 No.37

- ① 投影期間 平成2年7月28日～9月9日
- ② 内容

天文学を専攻する大学生のしのぶは、恐竜の絶滅に関する論文を読んでいたところ、その中で「小惑星の衝突」という衝撃的な原因説に出会った。恐竜の絶滅が、宇宙と関係があるかもしれないということで、しのぶはすっかりその論文に魅せられてしまった。

夏休みになり、しのぶは故郷にある恐竜公園と恐竜の研究をしている先輩が、恐竜公園の一角にある茶臼山自然史館に勤めているのを思い出し、さっそく行ってみることにした。

恐竜公園へいったしのぶは、先輩の雅之から恐竜について詳しく話を聞き、その後星降る里の恐竜公園へと出かけて行った。そこには、天の川を舞台とする夏の星座たちが輝いていました。それから、しのぶと雅之は恐竜公園の中を歩いていると奇妙な穴を見つけたことからとんでもないことが起きてしまった。

- ③ 声の出演 安田昌子、おんじ魔里、小山菜緒
- ④ 投影時間 39分
- ⑤ 入場者数 4,856人



パンフレット



茶臼山でゆき子と雅之は夏の星を見ていたが……

(3) 秋の番組「韋駄天マーキュリー」 No.38

- ① 投影期間 平成2年9月15日～11月25日
- ② 内容

伸也は水星を見るために、西の空の見晴らしが良い丘へ行き、日没を待っていた。水星を見るチャンスはそうたくさんはないので、満を持してこの時を待っていた。太陽が沈んで40分ぐらい経過したとき、待ち望んでいた水星が見えてきた。伸也は感激し、しばらく水星に見入っているとやがて水星は沈んでいき、あたりには夕闇が迫ってきた。するとその時、空から伸也に向かって何やら落ちて来るものがあった。驚いたことに、それはヘルメスというギリシャの神様であった。ヘルメスは商業の神様で、脚の速さを生かした伝令の仕事をしていた。ところで、先ほど伸也が見ていた太陽に一番近い惑星の水星はヘルメスの名前をもらったものである。（ギリシャ語名ヘルメス、英語名 マーキュリー）

伸也とヘルメスは、秋の星座を散歩した後ヘルメスの試験準備のため水星に行くことになった。

- ③ 声の出演 とどろきゆか里、阿木 恵、竹村高子
- ④ 投影時間 31分
- ⑤ 入場者数 3,383人



パンフレット

(4) 冬の番組「客星現れる」（リバイバル番組）

① 投影期間 平成2年12月1日～平成3年2月24日

② 内容

豪華な星座たちが勢ぞろいする冬の夜空。オリオン座は中でもひときわ目だつ星座である。オリオン座のすぐ右上には、ヒアデス星団とプレアデス星団が美しく輝いているおうし座がある。おうしの2本の角のうち南側の角の先端に^(セイ)星という3等星があり、そのすぐそばに望遠鏡を向けると、白く淡い雲のようなものが見える。この淡い雲は18世紀中ごろフランスの天文学者シャルル・メシエが作った星雲・星団のカタログの第1番目に載せられていることから、M（メシエ）1と呼ばれている。また、その形が蟹の甲羅に似ていることから「かに星雲」の愛称がある。

20世紀になって、望遠鏡で撮影したかに星雲の写真を調べていくと、かに星雲は刻一刻と膨脹していることが判明した。そして、その膨脹を逆に計算していくと、900年ほど前、かに星雲は一点に集まっていたことになるのだった。

実は、かに星雲は1つの大きな星が寿命つきて大爆発を起こし、その時吹き飛ばされた星のガスが膨脹している姿だった。昔はこのような星を『客星』と呼び、日本でも記録されていた。

③ 声の出演 松木正則 ⑤ 入場者数 2,213人

④ 投影時間 33分

(5) 春の番組「注文の多いプラネタリウム」 No.39

① 投影期間 平成3年3月2日～5月6日

② 内容

いつ頃のことであろう。昭和XX年、長野県のある村での出来事である。

小学生のやすお君とふとし君は魚釣りなどの遊びをした帰り、見知らぬ道に出た。ちょっとちゅうちょしたが、好奇心が勝ちその道を行ってみることにした。やがて、古いお化け屋敷のようなプラネタリウムに行き着いた。二人は勇気を出して入って行くと、そこはどうも奇妙なプラネタリウムであった。受付までの道のりが長いし、その途中でいろいろな注文を客にしてくるのだった。

ようやくプラネタリウムに入ると、星空の解説が始まった。入場無料でしかも時々食事が出るというサービス満点のプラネタリウムであるが、オンボロのせいかしばしば故障を起こした。

そして、投影が終わりに近づくと様子が変わってきた。客であるふとし君の身に何か変化が現れたのだ。

③ 声の出演 上野和枝、とどろきゆか里、中村利夫

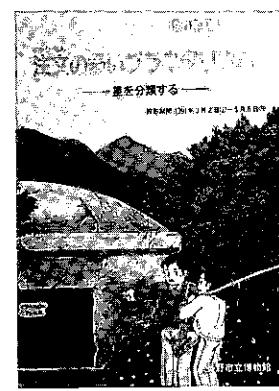
④ 投影時間 44分 ⑤ 入場者数 4,475人



皇帝に客星が現われたことを申し上げる



パンフレット



パンフレット

3 移動博物館

1) 教室

平成元年度より博物館以外の場所で行う「移動天体観望会」を実施しているが、今年度は5か所で行った。

第1回移動観望会……実施 七二会公民館と共に

日 時 平成2年8月10日 午後7時～9時30分

場 所 七二会小学校校庭

参加者 70人

内 容 台風が通過した直後で、大変雲が多く望遠鏡では天体を見ることができなかった。時折雲間から星がのぞき、何とか肉眼で夏の星座を見ることができた。空が暗く、星はきれいであった。

第2回移動観望会……実施 德間公民館と共に

日 時 平成2年8月11日 午後7時～9時

場 所 德間公園

参加者 40人

内 容 日中は晴れていたものの、夕刻より雲が出てきてやがて雷も鳴りだす。それでも薄雲を通して土星を観察することができた。

第3回移動観望会……実施 信更公民館と共に

日 時 平成2年10月13日 午後6時～9時30分

場 所 信田小学校高野分校

参加者 30人

内 容 曇天のため、外では行えず、分校の体育館でスライドと映画を使って星の学習をした。

第4回移動観望会……実施 芋井公民館と共に

日 時 平成2年10月20日 午後5時30分～8時

場 所 芋井小中学校校庭

参加者 60人

内 容 快晴に恵まれた。土星、アルビレオ、アルマク、M13（球状星団）、M57（環状星雲）、M31（アンドロメダ大星雲）、M11（散開星団）、ペルセウス座の二重星団などを観察した。

第5回移動観望会……実施 小田切公民館と共に

日 時 平成2年11月9日 午後5時～7時30分

場 所 小田切農村環境改善センター

参加者 30人

内 容 曇天のため実際の空は見られなかった。映画とスライドによる星の話をした。

2) 展示

今年度より、移動天体観望会に加えて、更に「移動展示」を実施した。

(A) 第1回移動展「教科書今昔」

① 期間 平成3年4月4日～5月31日

② 場所 長野市芋井公民館

③ 趣旨 長野県は、明治のはじめ、教育県といわれ、現在でも言われつづけている。こうした教育に対する熱心さは、江戸時代の寺子屋の隆盛に求めることができる。

この展示では、教本や教科書を通じて、教育の流れを考えようとするものである。

④ 内容 「寺子屋の時代」・

「学制公布から近代教科書へ」・

「国定教科書の時代」

⑤ 展示資料 27点

(B) 第2回移動展「市民参加の博物館活動より」

① 期間 平成3年1月25日～2月22日

② 場所 市役所玄関棟2階市民ギャラリー

③ 趣旨 今年度の体験的な教室を展示という形で総括し、博物館の活動の一端をPRすることを主眼とする。

④ 内容 自然 化石教室・天体観望会・天体写真教室

民俗 竹細工教室・ワラ細工教室

考古 土器づくり教室・遺跡見学会

歴史 見学会（北国街道）・古文書教室

⑤ 点数 63点（写真等は除く）



「教科書今昔」展



「市民参加の博物館活動より」展

4 教育普及

1) 講演会

(1) 特別展「蚕糸業にみる近代の長野盆地」記念講演会

日 時 11月3日

会 場 会議室

演 題 「長野県の蚕糸業」

講 師 上山和雄氏（國學院大学教授）

聴講者 30人

内 容 蚕糸業とはなにかといったことから、長野県の蚕糸業が世界に対してどのような影響を及ぼしたのかといったことまでお話ししていただいた。あわせて、松代の製糸業の位置づけもしていただいた。

(2) 開館9周年記念講演会

日 時 平成2年9月23日 午後2時～4時

会 場 会議室

演 題 「地球の歴史からみた地球環境」

講 師 田中邦雄（博物館長）

聴講者 18人

内 容 現代の環境問題として、オゾン層の破壊・地球の温暖化・森林破壊・酸性雨・砂漠化・海洋汚染等の諸問題をあげられた。そして、中でも特に地球の温暖化について、その原因を地球の歴史と関連づけてとりあげられた。

2) 教 室・講 座

(1) 天体観望会

第1回……曇天のため中止

日 時 平成2年4月28日 午後7時～9時

場 所 博物館前庭

第2回……実施

日 時 平成2年5月19日 午後7時30分～9時30分

場 所 博物館前庭

参加者 30人

内 容 日中は雨降りだったが、夕刻より晴れてきて実施できた。春の星座、木星、M44、ミザールなどを観察することができた。午後8時頃から曇ってしまい、スライドを使って星の話をした。

第3回……実施

日 時 平成2年6月28日 午後7時～9時30分

場 所 博物館前庭

参加者 60人

内 容 開始少し前から雲が出始め、流れる雲間から星を見るといった状況で、あまりよい天気ではなかった。春から夏の星座、M13（球状星団）、ミザール、こと座ε、ヘルクレス座αなどを観察した。午後9時頃から全天に雲が広がったため、スライドによる星の話を行った。

第4回……曇天のため中止

日 時 平成2年7月14日 午後7時～9時30分

場 所 博物館前庭

第5回……曇天のため中止

日 時 平成2年9月15日 午後6時30分～8時30分

場 所 博物館前庭

第6回……曇天のため中止

日 時 平成2年11月20日 午後5時～7時

場 所 博物館前庭

第7回……実施

日 時 平成2年12月8日 午後5時～7時30分

場 所 博物館前庭

参加者 45人

内 容 火星、M31（アンドロメダ大星雲）、アルビレオ（二重星）、アルマク、プレアデス星団、秋の星座を観察した。またFMタウンズによる星空案内も行った。

第8回（兼スター・ウォッチング）……実施

日 時 平成3年1月19日 午後6時30分～9時

場 所 博物館前庭

参加者 27人

内 容 よく晴れて、透明度の良い晩だった。秋から冬の星座、月、木星、M42（オリオン大星雲）、M41、M35、M37、M36、M38、M46、M1、M78などを観察し、後半は環境庁から依頼のあったスター・ウォッチングを実施した。これは長野市公害環境課主催のもので、当館が協力した。

第9回……実施

日 時 平成3年3月16日 午後7時～8時30分

場 所 博物館前庭

参加者 35人

内 容 はじめは晴れていたが、みるみる曇っていき結局星は見られず、スライドによる星の話をした。

(2) プラネタリウムC.Dコンサート「星空と音楽」

第23回

日 時 平成2年6月16日 午後6時30分～8時

入場者 92人

特 集 ジューン・ブライド

曲 目	1 アイ・ラヴ・ユー パートII	山下 達郎
2	ドンド・ウォリー・ベイビー	ビーチ・ボーイズ
3	浪漫飛行	米米CLUB
4	瞳がほほえむから	今井 美樹
5	サマー・キャンドルズ	杏 里
6	時を越えて	稻垣 潤一
7	碧い瞳のエリス	安全地帯
8	アニバーサリー	松任谷由美
9	エリー・マイ・ラヴ	レイ・チャールズ
10	乾 杯	長渕 剛

第24回

日 時 平成2年9月22日 午後6時30分～8時

入場者 135人

特 集 久保田利伸&渡辺美里

曲 目	1 ユー・ワー・マイン 久保田利伸	6 ラヴ・リボーン 久保田利伸
2	マイ・レボリューション 渡辺美里	センチメンタル・カンガルー 渡辺美里
3	ビリーブ 渡辺美里	す き 渡辺美里
4	ラヴィン・ユー 渡辺美里	悲しいね 渡辺美里
5	クライ・オン・ユア・スマイル 久保田利伸	ミッシング 久保田利伸

第25回 (2回実施)

日 時 平成2年12月23日

1回目 午後6時～7時15分

2回目 午後7時30分～8時45分

入場者 1回目 101人

2回目 80人

特 集 クリスマス・ソング

曲 目

1	ラスト・クリスマス	ワム
2	ハッピー・クリスマス	ジョン&ヨーコ
3	サムディ・アット・クリスマス	ザ・ユーロビート・クラブ・バンド
4	サイレント・イヴ	辛島美登里
5	メリー・クリスマスが言えない	稻垣潤一
6	シルバー・ベルズ	ダイアナ・ロス&スプリームス
7	想い出のクリスマス	スティービー・ワンダー
8	恋人がサンタクロース	松任谷由美
9	最後のHoly Night	杉山清貴
10	パール・ホワイト・イブ	V. O. X
11	クリスマス・イヴ	山下達郎

第26回 (2回実施)

日 時 平成3年3月23日

1回目 午後6時30分～7時45分

2回目 午後8時15分～9時30分

入場者 1回目 104人

2回目 98人

特 集 浜田省吾&杏里

曲 目

1	涙を海に返したい	杏里
2	ミス・ロンリー・ハート	浜田省吾
3	ロマンス・ブルー	浜田省吾
4	恋人達の舗道	浜田省吾
5	オリビアを聴きながら	杏里
6	地中海ドリーム	杏里
7	君に会うまでは	浜田省吾
8	愛しい人へ	浜田省吾
9	ブレスレス・ラブ	浜田省吾
10	オール・オブ・ユー	杏里

(3) 天体写真教室

星(天体)を観察するには、肉眼で見たり望遠鏡で見たりという方法がまず考えられますが、そのほかにも写真にとるという有効な手段がある。目で見るとこととは天体観望会で行っているが、もう一つの手段である「写真」を撮ることによって別の角度から星を眺める目的でこの教室を開催した。

第1回目

日 時 平成2年8月12日 午後6時～10時

会 場 会議室、天体観測ドーム

参 加 者 8人

内 容 会議室で天体写真の基本を講義した後、天体観測ドームにて実際に撮影する。はじめは曇っていたが、午後9時頃から晴れてきて撮影することができた。また、望遠鏡で、

土星、M57を見た。また、双眼鏡でレピー彗星を見る。

第2回目

日 時 平成2年10月21日 午後6時～9時30分

会 場 外来研究室及び前庭

参 加 者 12人

内 容 参加者の撮影した写真の考察・基本的な写真撮影の方法・今後の主な撮影対象・前庭にて実際に星を撮影する・望遠鏡で土星、火星、アンドロメダ大星雲などを見る

(4) 化石教室

① 春の化石教室

日 時 平成2年5月19日・20日・27日 午前10時～午後4時

場 所 中条村周辺

参 加 者 19人

講 師 田中邦雄（館長）

内 容 事前学習の後、現地にて地層の観察や化石を採集し、自然史館にてクリーニングを行った。

② 夏の化石教室

日 時 平成2年7月29日・8月3日・4日 午前10時～午後4時

場 所 信州新町菅沼・細尾・柳久保

参 加 者 12人

講 師 田中邦雄（館長）

内 容 春の化石教室と同様

(5) 歴史教室（見学会）

① 松代の文化財を尋ねて

日 時 平成2年7月25日 午前10時～午後4時30分

参 加 者 23人

見学地 六工社跡・真田信重靈屋・清水寺・松代大本營跡・高義亭・横田邸・大英寺・蓮乗寺・長國寺ほか

② 北国街道を訪ねて(1)

日 時 平成2年8月8日 午前9時30分～午後5時

参 加 者 26人

見学地 屋代宿・坂木宿・海野宿・小諸宿・追分宿・沓掛宿・大笛ほか

③ 北国街道を訪ねて(2)

日 時 平成2年8月11日 午前9時30分～午後5時

参 加 者 25人

見学地 丹波島宿・善光寺宿・新町宿・牟礼宿・関川関所跡・柏原宿・神代宿ほか

④ 古代東山道を訪ねて

日 時 平成2年11月8日 午前10時～午後4時

参 加 者 3人

見学地 雨宮廃寺跡・更埴条里水田址・越将軍塚古墳・石川条里遺跡・県町遺跡ほか

(6) 古文書教室

- ① 初級コース 第1回 4月21日・28日・5月5日・26日（参加者 38人）
第2回 6月8日・22日・7月13日・28日（参加者 26人）
第3回 12月16日・22日・1月13日・27日（参加者 28人）

講 師 原田和彦

場 所 会議室

内 容 地方文書のうち、比較的平易なものを読んだ。

- ② 中級コース 第1回 6月9日・23日・7月14日・27日（参加者 22人）
第2回 8月10日・24日・9月7日・21日（参加者 29人）
第3回 2月2日・16日・3月2日・8日（参加者 30人）

講 師 藤森治幸

場 所 会議室

内 容 町方文書の判読

(7) 歴史講座

- 第1回 5月12日・19日・6月2日・16日（参加者 30人）
第2回 9月8日・22日・10月13日・27日（参加者 29人）
第3回 1月12日・2月1日・9日・23日（参加者 34人）

講 師 和田 博

場 所 会議室

内 容 古代、中世の北信濃の歴史

(8) 歴史講座（講演会）

テーマ「民衆の歴史」

第1回 日 時 8月5日

場 所 会議室

演 題 「莊園に生きた中世の人々」

講 師 井原今朝男氏（長野県須坂高校教諭）

受講者 42名

内 容 太田莊の話を中心に、そこに生きた人々についても触れていただいた。

第2回 日 時 11月18日

場 所 会議室

演 題 「村と百姓の変化からみた近世史」

講 師 古川貞雄氏（長野県史主任編纂委員）

受講者 50名

内 容 近世という時代を、村のなかの構造の変化からお話しいただいた。

(9) 民俗学講座（講演会）

日 時 7月15日

場 所 会議室

演 題 「北信地方の道祖神信仰について」

講 師 倉石忠彦氏（國學院大学助教授）

受講者 117名

内 容 長野県は多くの道祖神祭りが存在するが、そうした信仰の違いを、北信地方に限ってお話しいただいた。

(10) 民俗学教室（ワラ細工）

日 時 平成2年12月2日・9日 午前10時～午後3時30分

会 場 会議室

受講者 9人

講 師 吉田茂成氏

内 容 「ワラの文化」についての講義のあと、ワラスグリ、ワラウチを行ない、ワラ編み台を用いて、ゾウリを作った。

(11) 民俗学教室（竹細工I）

日 時 平成2年7月7日 午前10時～午後3時

会 場 会議室

受講者 3人

講 師 小出九六生氏

内 容 親子竹細工教室として実施し、竹を素材にして、こま・竹笛・竹トンボなどのおもちゃを作製した。

(12) 民俗学教室（竹細工II）

日 時 平成2年10月6日・27日・11月10日・24日 午前10時～午後3時30分

会 場 会議室

受講者 11人

講 師 小出九六生氏

内 容 竹割り・竹ひごづくりより始めて、四つ目と六つ目の竹編みに挑戦し各々の形に仕上げた。

(13) 考古学教室（遺跡見学会）

日 時 ①5月17日 午前11時～午後4時 ⑤8月28日 午前11時～午後4時

②6月20日 " ⑥9月20日 雨天のため中止

③7月19日 " ⑦10月18日 午前11時～午後4時

④8月9日 " ⑧11月15日 "

会 場 会議室・野外

受講者 ①22人 ②23人 ③22人 ④18人 ⑤33人 ⑦15人 ⑧22人

内 容 各回ともそれぞれテーマを設定した。

①遺跡の立地（森將軍塚古墳・四ツ屋遺跡・松原遺跡・川田条里遺跡）

②住まい（村東山手遺跡・松原遺跡・榎田遺跡）

③古墳I（森將軍塚古墳・大星山古墳群）

④古墳II（川柳將軍塚古墳・姫塚古墳・中郷古墳）

⑤大室古墳群発掘調査現地説明会

⑦集落（松原遺跡・春山B遺跡）

⑧お墓（松原遺跡・川田条里遺跡・春山B遺跡）

協 力 長野県埋蔵文化財センター

長野市埋蔵文化財センター

(14) 考古学教室（土器づくり）

日 時 ①9月30日 午前10時～午後3時30分

②10月7日 "

③10月10日 "

④10月28日 午前9時30分～午後4時

⑤11月11日 午前7時～午後6時

(6)11月17日 午後2時～4時

会 場 会議室・野外

受講者 7人

内 容 土器の歴史的意義や製作技術などの話しを土台にして、各自が実際の縄文土器（写真や実測図）を手本にして成形→施文→整形→乾燥→焼成を行なった。野焼きの後、南信方面に土器見学旅行を実施した。

(15) 考古学講座（講演会）

日 時 平成2年7月29日 14時～16時

会 場 会議室

演 題 善光寺平の沖積地遺跡の発掘成果

講 師 小林秀夫（長野県埋蔵文化財センター調査部長）

聴講者 59人

内 容 平成元年度・2年度の調査の中から、主に石川条里・篠ノ井・松原・川田条里の各遺跡の概要とそれぞれの成果をお話しいただいた。

(16) 考古学講座

日 時 2月3日・2月17日・3月3日・3月17日 午後2時～4時

会 場 会議室

受講者 26人

内 容 「遺物からみた善光寺平」をテーマに考古学の基礎的内容と弥生時代・古墳時代中心に、全国的な動向の中で位置づけられるように進めた。

3) 刊 行 物

名 称	発 行 日	規 格	備 考
おかしな円卓会議 －宇宙の大きさ－	5月19日	A 4 二つ折	プラネタリウムパンフレットNo.36
地図にみる村と町	7月1日	〃	特別展パンフレット
いろいろな化石・岩石	7月15日	〃	〃
巨大隕石の恐怖 －恐竜絶滅の謎－	7月28日	〃	プラネタリウムパンフレットNo.37
韋馳天マーキュリー	9月15日	〃	〃 No.38
蚕糸業にみる近代の長野盆地	10月7日	〃	特別展パンフレット
〃	〃	B 5・64頁	特別展図録
客星現れる	12月1日	A 4 二つ折	プラネタリウムパンフレット
博物館だより17号	1月10日	B 5・4頁	
注文の多いプラネタリウム	3月2日	A 4 二つ折	プラネタリウムパンフレットNo.39
博物館だより18号	3月31日	B 5・4頁	
年報 第8号	3月31日	B 5・60頁	平成元年度活動報告
長野市立博物館 常設展示ご案内	3月31日	B 5変形四つ折	常設展パンフレット
収蔵資料目録自然 I	〃	B 5・30頁	

4) 博物館実習

実習生 宮崎純一（静岡大学）

菅谷茂樹（東京農業大学）

田中啓子（実践女子大学）

期間 平成2年7月31日～8月5日（6日間）

実習日程概要

7月31日 実習心得と実習計画、館内見学
軸物・巻物の取り扱い方

写真撮影と現像準備

古文書の取り扱い方

8月1日 土器の接合及び土器作り
館長講話

8月2日 自然史館にて実習

8月3日 バード・ウォッチング

展示構想

写真撮影と現像・フィルムの整理・スライド制作

8月4日 土器作り

保存科学とくん蒸作業

マイクロフィルムの取扱方

8月5日 資料の受け入れと収蔵

講演会準備

黒点・プロミネンスの観測

プラネタリウム実習

5 調査研究収集

1) 天文部門

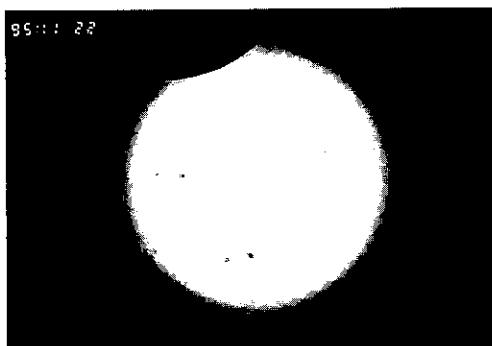
太陽黒点の観測（1990年）

当館では、1981年7月より太陽黒点の観測を行っている。太陽黒点の増減は、太陽活動と密接な関係があり継続して見守っていくことは重要である。1990年は第22活動期の極大を少し過ぎたあたりであるが、まだまだ活動が活発で目が離せない。

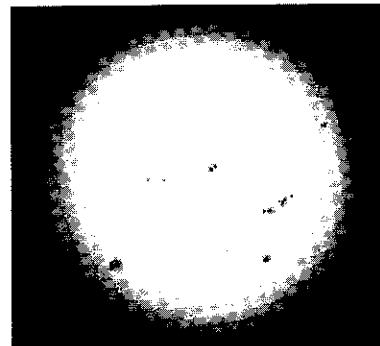
当館での観測方法は次の通りである。

投影法によるスケッチ……投影像は直径25cm

使用望遠鏡……15cm屈折望遠鏡（F15） 接眼レンズ K40mm



1990年7月22日の部分日食



1990年8月21日

太陽黒点相対数（1990年）平成2年

(—観測なし)

日付	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月					
	N	S	TOTAL	N	S	TOTAL	N	S	TOTAL	N	S	TOTAL	N	S	TOTAL	N	S	TOTAL	N	S	TOTAL	N	S	TOTAL	N	S	TOTAL	N	S	TOTAL	N	S	TOTAL						
1	119	85	204	—	—	—	74	127	201	—	—	—	26	22	48	—	—	—	65	130	196	82	107	189	—	—	—	26	106	135	—	—	—						
2	—	—	—	142	91	233	—	—	—	85	98	183	25	45	70	—	—	—	—	—	—	153	99	251	80	118	198	43	121	164	28	98	125	121	102	223			
3	—	—	—	110	65	175	—	—	—	69	95	184	61	61	121	62	61	113	—	—	—	119	71	196	87	80	167	—	—	—	34	126	160	—	—	—			
4	98	98	196	—	—	—	79	80	159	—	—	—	—	—	—	61	68	129	—	—	—	—	—	—	113	106	219	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5	106	104	210	141	54	195	85	63	148	91	65	157	—	—	—	—	—	—	126	206	332	92	104	294	—	—	—	—	64	143	207	107	120	227					
6	—	—	—	67	35	102	51	71	131	78	69	147	—	—	—	91	63	154	104	128	232	83	94	177	80	80	173	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7	81	69	150	79	49	128	49	81	130	88	76	163	—	—	—	65	77	142	118	143	262	107	91	204	—	—	—	—	—	—	—	—	117	129	246				
8	69	107	176	81	47	128	41	56	97	70	47	117	107	106	213	103	92	195	121	121	242	100	62	152	69	42	111	—	—	—	—	—	—	170	140	310			
9	49	84	133	71	49	120	47	48	95	109	61	178	94	115	229	—	—	—	71	82	159	101	64	155	85	34	119	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
10	39	102	141	61	57	118	59	45	104	91	39	132	105	107	212	—	—	—	76	53	129	—	—	—	103	63	172	92	120	212	97	103	200	179	111	290			
11	26	131	157	—	—	—	69	73	141	90	90	180	—	—	—	162	62	224	92	75	167	127	113	240	90	40	150	105	133	229	118	115	233	122	43	165			
12	36	156	212	62	32	94	26	25	101	53	55	108	126	102	230	177	56	233	105	86	191	152	88	240	84	78	162	—	—	—	—	—	—	143	50	183			
13	—	—	—	82	24	106	78	16	94	—	—	—	116	70	166	155	71	224	104	83	187	173	94	257	—	—	—	—	98	92	188	140	35	175					
14	51	111	162	—	—	—	92	35	127	—	—	—	—	—	—	145	69	214	103	95	199	179	117	296	—	—	—	—	74	66	140	113	11	124					
15	75	69	144	—	—	—	80	44	124	—	—	—	125	90	215	—	—	—	103	29	132	217	132	349	—	—	—	—	84	54	188	—	—	—					
16	—	—	—	—	—	—	127	89	176	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	210	103	313	—	—	—	—	—	—	109	22	131						
17	—	—	—	53	44	97	100	53	153	—	—	—	116	181	247	81	124	205	84	37	121	—	—	—	—	—	—	—	75	40	115	119	25	244					
18	—	—	—	27	31	61	69	81	160	124	224	350	—	—	—	61	63	124	46	31	77	—	—	—	104	162	268	114	38	152	100	21	121						
19	—	—	—	—	—	—	121	159	280	110	198	306	—	—	—	63	73	136	—	—	—	200	143	319	68	166	234	109	139	246	—	—	—						
20	84	133	217	—	—	—	97	148	245	164	237	401	131	152	323	—	—	—	83	31	85	208	221	428	96	102	198	126	112	240	—	—	109	31	140				
21	103	141	244	89	91	180	89	172	361	134	222	356	—	—	—	—	—	—	127	47	174	156	297	453	80	125	205	120	92	216	—	—	130	27	157				
22	74	110	184	116	155	293	61	210	271	135	176	311	134	212	345	47	59	106	138	97	225	122	222	401	97	107	204	163	96	259	—	—	86	49	135				
23	—	—	—	—	—	—	65	251	316	—	—	—	—	—	—	34	79	113	168	85	251	87	233	350	85	97	182	107	98	265	—	—	33	47	89				
24	50	170	220	—	—	—	—	96	92	188	86	161	247	41	88	123	167	106	273	100	294	294	—	—	—	108	130	238	47	65	112	29	69	98					
25	—	—	—	—	—	—	61	148	209	102	119	221	123	97	210	—	—	—	—	—	—	103	220	333	—	—	—	—	35	83	116	31	113	144					
26	55	103	158	—	—	—	26	165	191	131	177	248	112	91	206	—	—	—	167	126	243	84	232	316	—	—	97	75	172	—	—	—							
27	107	127	234	—	—	—	57	249	276	104	111	215	132	117	249	—	—	—	133	122	255	—	—	43	83	136	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
28	120	85	206	109	176	285	—	—	—	71	55	132	95	83	178	91	181	272	110	153	263	83	148	231	—	—	67	84	151	—	—	23	160	183					
29	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	94	103	197	123	172	300	104	151	253	122	161	283	63	114	177	51	77	128	—	—	—	—	—	—			
30	142	116	258	—	—	—	49	151	200	41	54	95	78	22	169	—	—	—	91	133	184	158	175	333	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
31	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	96	67	160	—	—	—	88	136	224	106	142	246	—	—	37	94	131	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
74	73.1	110.3	188.4	86.4	65.0	151.4	73.0	102.3	175.8	98.6	106.2	204.8	99.0	102.4	211.4	92.2	85.2	177.4	106.7	98.4	255.1	131.3	155.4	266.7	83.8	90.7	174.5	95.1	109.5	204.6	68.85	86.85	155.7	104.3	68.7	173.0			
総合	1911	1511	2511	2111	2011	3711	2411	3511	1711	1411	1311	1911	1311	1311	1311	1311	1311	1311	1311	1311	1311	1311	1311	1311	1311	1311	1311	1311	1311	1311	1311	1311	1311	1311					

2) 歴史部門

本年度のはじめ、更級郡中氷鉋村の青木家文書を一括で御寄託いただいた。

青木家文書は、夙にその存在を知られていたものであるが、その中でも、文禄4年の検地帳（長野市の指定文化財）は、上杉景勝の支配下にあったこの地の実情を伝えるものとして有名である。

長野南高校教諭の岡沢由往氏の仲介をいただき、現当主・青木十郎氏のご理解によって、すべての文書についての寄託を受ける運びとなった。

青木家文書は、その主たるものについては、佐藤常雄氏（現・筑波大学）により整理され、編年分類による目録がだされている。今回寄託を受けたものは、この目録に載せられていないもの（書簡類）が多く含まれている。現在、川中島古文書研究会の5人の方々に整理をお願いしている。

今後、細かい整理が進めば、上田領、川中島の実態が、より明確になるだろうと思われる。

3) 民俗部門

民俗調査に関しては、特別展のための事前調査が行なわれた。調査は、8人の方々にご協力願い、「養蚕習俗」に関して、統一項目をもうけて行なった。

調査地は、川中島平・松代地区・芋井地区の3箇所を重点的に行ない、各地域間の習俗の差（時期的差や、養蚕信仰の違いなど）を明かにしようとするものだった。なお、この成果については、第27回特別展の図録「蚕糸業にみる近代の長野盆地」としてまとめた。

調査者 青山愛一郎・福沢文子・伝田茂子・寺沢寛・寺沢八重子・荒井真紀・若林奈津子・山下

裕子・平林美恵子・原田和彦

話者 31名

6 収蔵資料整理

1) 考 古

駒沢祭祀遺跡出土遺物の整理

本遺跡は昭和41年5月、長野県企業局による駒沢団地の造成が行われた際、緊急調査が実施された。古墳時代の祭祀遺構が5か所検出され、多量の遺物が出土した。しかし現在まで調査報告書は刊行されず、一部の資料のみが公にされている。未発表・未整理分の土器類は多数あり、本年度は第1号址の高壙を中心に接合・実測・バインダー処理を行った。

2) 歴 史

① 資料整理（古文書）

平成元年度、当館に今まで寄贈・寄託をいただいた歴史資料の整理に着手した。元年度には、典籍に関するもののカード化をすべて行ない、2年度からは、川中島古文書研究会（会長・柳沢隆雄氏）の4人のかたに、郷土史家の岡沢由往氏を加えたメンバーで、古文書の整理をお願いした。

2年度の整理は、更級郡今井村の小林家文書のうち、一紙文書の判読、カード化を行ない、小林家文書目録として刊行した。小林家文書は、佐藤常雄氏によって仮目録化され、多くの史誌類に引用されているが、より多くの市民の方々に知っていただくためにわかりやすい内容とした。

わかりやすい目録を作るには、その内容の理解が必要であるが、従来この点が疎かになってきた。仕事としては地味であるものの、こうした仕事の積み重ねが重要であることを付言しておく。

② マイクロフィルム化

マイクロフィルム化は、資料の整理というよりも資料収集や、閲覧サービスを目的としている。当館でも、この二つの目的のために、平成2年度より新たにマイクロフィルム化事業をもうけた。

2年度に新たにマイクロフィルムで収集した資料として、吾妻銀右衛門関係資料がある。これは、特別展の調査過程での収集であるが、これらの資料の中には、幕末期における松代藩の桑栽培奨励策について詳しい記載がある。

閲覧サービス用のマイクロフィルム化事業は、前記の小林家文書のマイクロ化をすすめている。2年度は、諸事情によりごく一部のマイクロ化のみにとどまった。

今後、資料の収集手段として、このマイクロフィルム化事業を拡大する必要を感じる。しかし、その前提として、マイクロフィルム事業が軌道にのるような体制作りが課題であろう。

3) 地 質

平成2年12月31日現在における自然資料の地学資料のうち、県外産植物・動物化石及び県内産植物化石について整理番号・収蔵番号・資料名・点数・採集地・年代・法量・寄贈者を明記し、長野市立博物館収蔵資料目録自然1として3月末に刊行した。

教室ができ収蔵庫の棚も整ったので、化石と現世貝類を以前からの収蔵庫に、岩石とボーリングコア標本を新しく作った収蔵庫に納める。

III 博物館収蔵資料

1 購入資料

1) 図 書

書名	発行所	書名	発行所
佐久市志民俗編上	佐久市志編纂委員会	日本歴史体系 5 近代II	山川出版社
佐久市志民俗編下	"	新訂増補国史体系尊卑分脉第二篇	吉川弘文館
国史体系尊卑分脉第一篇	吉川圭三	〃 国史体系尊卑分脉第三篇	"
国史体系尊卑分脉索引	"	〃 国史体系尊卑分脉第四篇	"
古典籍総合目録第1巻あ	岩波書店	武石村誌全四巻自然と風土	武石村誌刊行会
図書総目録第4巻	"	〃 村の歴史	"
古典籍総合目録第2巻	"	〃 民俗	"
〃 第3巻	"	〃 現代	"
波田町誌 自然民俗編	波田町長	長野県史民俗編第三巻中信地方	長野県史刊行会
波田町誌 歴史現代編	"	長野県史近代史料編第6巻商業金融	"
最新核エネルギー論	学習研究社	展示デザインの原理	丹精社
最新アイソシュタイン論	"	信越の電信電話史	信越電気通信局
最新素粒子論	"	日本歴史大系総索引	山川出版社
最新恐竜論	"	長野県地名大辞典	角川書店
最新宇宙論	"	国書総目録第6巻とーひ	岩波書店
望遠鏡光学・屈折編	誠文堂新光社	銀河宇宙オデッセイ1	日本放送出版協会
天文の辞典	朝倉書店	銀河宇宙オデッセイ2	"
炭酸塩堆積物の地球化学	東海大学出版社	銀河宇宙オデッセイ3	"
地震発生のしくみと予知	古今出版	銀河宇宙オデッセイ4	"
彗星ーその本性と起源	朝倉書店	国書総目録第7巻ふ～よ	岩波書店
古天文学	恒星社	銀河宇宙オデッセイ	日本放送出版協会
宇宙探求のサイエンス	けやき出版	広報ながの縮刷版1～16	長野市
蕃史大事典第3巻中部編	雄山閣出版KK	日本農耕社会の成立過程	岩波書店
写真記録昭和の信州	信濃毎日新聞社	平成二年善光寺空航写真集	長野総合企画
写真記録地図藤井陽一郎編	国書刊行会	長野県史近代史料編第10巻(二)	長野県史刊行会
国書総目録第5巻すーて	岩波書店	補訂版国書総目録第8巻ら～ん蔵書目録補	岩波書店
長野県の重要文化財美術工芸編	郷土出版社	日本地名資料集成別巻1	角川書店
新編長門町誌	長門町誌刊行会	銀河宇宙オデッセイ	日本放送出版協会
くずし字解説辞典著及版	近藤出版社	歴史資料保存機関競覧(西日本)	山川出版社
くずし字解説辞典著及版	"	〃 (東日本)	"
くずし字用例辞典著及版	"	戦国人名事典「コンパクト版」	新人物往来社
くずし字用例辞典著及版	"	国史大辞典11、12 たーひ	吉川弘文館
難訓用例大辞典	柏書房	日本の考古学その歩みと成果	便利堂
古文書大辞典	"	日本信頼全三冊 湯浅吉美編	汲古書院刊
古文書字彙	"	銀河宇宙オデッセイ7	日本放送出版協会
長野県歴史人物大事典	郷土出版社	長野県史美術建築資料編	長野県史刊行会
輕井沢町誌民俗編	軽井沢町誌刊行委員会	明月記第一	続群書類從完成会
〃 歴史編	"	伊東信雄先生追悼考古学古代史論叢	今野田印刷KK
〃 自然編	"	昭和63年度長野県統計書	長野県
日本歴史大系1 原始・古代	山川出版社	考古学論叢	平電子印刷所
〃 2 中世	"	日本地名総覧	角川書店
〃 3 近世	"	飯島町誌上巻	飯島町
〃 4 近代	"	古文化論叢	児島隆人先生喜寿記念事業会

書名	発行所
生産と流通の考古学	横山浩一先生追憶記念事業会
中世城郭研究論集	新人物往来社
昭和期山村の民俗変化	名著出版
太陽系発見の証明	地人書館
地球の雲状衛星	"
ナゾの木星大赤斑	"
うつりゆく天の極	"
星を近づけた人びと（上）	"
星を近づけた人びと（下）	"
海王星の発見	恒星社厚生閣
古天文学の道	原書房
望遠鏡光学・反射鏡	誠文堂新光社
衣食住に見る日本の歴史 1~7	あすなろ書房
東アジアの考古と歴史上中下	同朋舎
「伊那路」総目録第1~402号	上伊那郷土研究会
国書総目録著者別索引（補訂版）	岩波書店
塩尻市誌第一巻自然	塩尻市教育委員会
赤玉と赤石の魅力	第一法規
双眼鏡で星空ウォッチング	丸善株式会社
長野県史通史編	長野県史刊行会
ウラノメトリア2000 Vol. 1 (北天)	
ウラノメトリア2000 Vol. 2 (南天)	
NGC2000カタログ	

書名	発行所
ザ・ニュー・リーラーシステム	
A. A. V. S. O. 星図	
E S O 写真集	
スーパー・バーサーチチャート	
スカイカタログ2000 Vol. 1 Vol. 2	
鶴高町誌歴史編上・歴史編下・民俗編・自然編・附図	鶴高町誌刊行会
長野県史近代史料編（1）第五巻	長野県史刊行会
長野県史民俗編第五巻総説1	"
下伊那史第一巻	下伊那誌編纂会
河岸に生きる人びと	平凡社
近世日本水運史の研究	雄山閣
博物館の防虫対策手引き	"
群書系図部集第一~七	平文社
博物館ハンドブック	雄山閣
新版日本史年表	岩波書店
一遍上人絵伝	中央公論社
生涯学習事典日本生涯教育学会編	東京書籍
岩波古語辞典補訂版	岩波書店
旧高旧領取調帳近畿編	近藤出版社
旧高旧領取調帳東北編	"
旧高旧領取調帳九州編	"
旧高旧領取調帳中国四国編	"

2) 自然資料

- 〈化石〉 ウミユリ 1点
 ストロマライト 1点
 モササウルスの歯 1点
 エドモントサウルス 1点

2 寄贈資料

1) 図書

書名	寄贈者
文政12年徳山分家領騒動記録（一）	各務原市歴史民俗資料館
研究調査報告書第17集1990.3	浦和市郷土博物館
太田市八幡遺跡1990	群馬県教育委員会
各務原市文書史料目録五	各務原市歴史民俗資料館
古文書近世史料目録第12号	山形大学附属博物館
みつめの彼方	武井たつ子
有馬条里遺跡1	群馬県教育委員会
外迎山遺跡・唐沢遺跡・山見塚遺跡	市原市文化財センター
市原市文化財センター研究紀要1	"
市原市大厩弁天台遺跡	"
平成元年度佐倉市埋蔵文化財発掘調査報告書	佐倉市教育委員会
日本研究第2集平成2年3月	国際日本文化研究センター
菩提木遺跡	群馬県埋蔵文化財調査事業団
自然保护専門委員会報告書	長野冬季オリンピック招致委員会
越中の古文書展	富山市郷土博物館

書名	寄贈者
富山藩の文化と産業展	"
目録小嶋家文書	三好町立歴史民俗資料館
八幡根東遺跡発掘調査報告書	栃木県小山市教育委員会
鷲森本願寺の歴史と寺宝	和歌山市立博物館
日本の化石・世界の化石	瑞浪市化石博物館
瑞浪市化石博物館研究報告第16号	"
鬼神とまじない	岐阜市歴史博物館
東京都の自然第16号	東京都高尾自然科学博物館
地域文化No12 1990-4	八十二文化財団
研究業績第27号	信州大学教育学部
下箱田向山遺跡	建設省
国分境遺跡	群馬県教育委員会
愛媛の自然（動物その1 昆虫類）	愛媛県立博物館
愛媛の海岸動物	"
福岡市立歴史資料館年報	福岡市立歴史資料館
研究報告第14集	"
河南省文物展	斎宮歴史博物館
八ヶ岳美術館	清水多嘉示美術館
豊後キリストン史ヨーロッパ文化との出会い	大分市歴史資料館
大分市歴史資料館年報	"
長根羽田倉遺跡	群馬県教育委員会
子どもの遊びと年中行事	日本民俗資料館
漆器のある暮らし	小山市立博物館
房総半島の漁撈用具—第3集—	千葉県立安房博物館
研究紀要27	小松市立博物館
長井台地遺跡群	横須賀市教育委員会
能田旭古墳—第二次発掘調査報告書	南山大学人類学博物館
緑化推進シリーズⅢかがわの市町村	香川県自然科学館
研究報告第12巻	"
研究報告第26集	国立歴史民俗博物館
研究報告第25集	"
三井寺秘宝展	日本経済新聞社
さいたまの海縄文人からの伝言	埼玉県立博物館
伊達政宗と仙台の名宝	名古屋市博物館
あさづくり	広島市教育委員会
広島市における針づくりとその技術	広島市教育委員会
日本の古典	名古屋市博物館
研究紀要—7—	群馬県埋蔵文化財調査事業団
神奈川自然誌資料II	神奈川県立博物館
くらしのなかの着物	富山市立博物館
立山町の石造物（第二集）	立山町教育委員会
立山町埋蔵文化財分布調査報告	"
辻遺跡—第2次発掘調査報告書—	"
吉峰遺跡—第7次発掘調査報告書	"
長野県勢要覧平成元年度	長野県
県別歴史シリーズ	"
土別の草花郷土学習シリーズ第2集	土別市立博物館
とやまと自然	富山市科学文化センター
堀田氏と佐野藩領	佐野市郷土博物館
埼玉県立博物館館有資料目録VI	埼玉県立博物館
埼玉県立博物館紀要—16—	"
研究紀要第12号	"
土別市立博物館報告第8号	土別市立博物館
有馬遺跡II弥生・古墳時代編	群馬県教育委員会

書名	寄贈者
有馬遺跡II弥生・古墳時代編写真図版編	"
府中市郷土の森紀要第3号	府中市郷土の森
研究報告II	岡山県立博物館
秩父地方歴史資料所在調査報告書	埼玉県立博物館
大明神原遺跡III	下伊那郡上郷町役場
柏原遺跡栗尾元遺跡、橋爪遺跡	"
恐竜時代—日本と中国	福井県立博物館
研究紀要	宮崎県総合博物館
一宮市博物館資料目録	一宮市博物館
地機で織る（越後縮）	"
平塚市博物館年報No13	平塚市博物館
研究紀要1	一宮市博物館
自然と文化	平塚市博物館
ガイドブック10星空の12ヶ月	"
松代—真田の歴史と文化—	真田宝物館
郷土資料館	板橋区立郷土資料館
高島秋帆と澤太郎左衛門	"
板橋区立郷土資料館常設展示図録	"
板橋区立郷土資料館紀要第8号	"
一宮町遺跡・文化財地図1990	一宮町教育委員会
小田原市郷土文化館研究報告No26	小田原市郷土文化館
西宮ふるさと民話	西宮市立郷土資料館
菊池一雄の彫刻	中野市教育委員会
年報昭和62・63年度	知立市歴史民俗資料館
伊那民俗研究創刊号1990年10月	柳田国男記念伊那民俗学研究所
増補一茶の句碑	一茶記念館
西中遺跡群V—荒新切遺跡—	知立市教育委員会
調布の動物ばなし	調布市郷土博物館
水辺の会平成2年第4号	水辺の会
茶の湯の美德川美術館の各品から	徳川美術館
博物館郷土資料館等ガイド	農林水産技術会議事務局
ハイビジョンシステム博物館分野への応用	開発支援委員会博物館WG
明治大学学芸員養成課程年報	明治大学学芸員養成課程
紀要	"
考古学資料館紀要第6輯	国学院大学考古学資料館
考古学資料館要覧1989	"
自然教育園報告第21号	国立科学博物館
国際保護鳥ナペツル・マナヅル保護・管理手法に関する基礎研究	"
湖東焼窯跡測量調査報告書	彦根城博物館
やまなみ外国人留学生雑誌	信州大学教養部
博物館學紀要第14輯	国学院大学博物館学研究室
太田区地図集成	太田区立郷土博物館
埼玉県立自然史博物館研究報告第5号	埼玉県立自然史博物館
埼玉県立自然史博物館収蔵資料目録第4集シダ植物(1)	"
蛇谷遺跡上総国分寺台遺跡調査団編	千葉県市原市教育委員会
市原市内遺跡群発掘調査報告1990.3	"
第一回浮世絵大入札回	日本浮世絵商協同組合
能登・人口知られぬ日本の辺境	宮崎正明
菊池一雄の彫刻1985.9	中野市教育委員会
箱根町立郷土資料館館報第6号	箱根町立郷土資料館
愛知大学用地内埋蔵文化財発掘調査報告書	三好町教育委員会
法花寺遺跡（廃寺）他発掘調査報告書	新潟県中頸城郡三和村教育委員会
日本写真家協会創立40周年記念	日本写真家協会
八王子市郷土資料館年報昭和63年度	八王子市郷土資料館

書名	寄贈者
八王子千人同心関係史料集第三集	八王子市教育委員会
八王子市千人同心関係文書目録第3集	"
石川日記（十二）	"
郷土資料館紀要八王子の歴史と文化第2号	"
研究紀要第6号	八戸市博物館
ひしがし－南部女性の美－	"
愛媛の自然第32巻第1号	愛媛県立博物館
" 第32巻第2号	"
" 第32巻第3号	"
" 第32巻第4号	"
" 第32巻第5号	"
" 第32巻第6号	"
妻有の人物史－先人の生き方に学ぶ－	十日町市博物館
史学研究集録第15号	国学院大学日本史学専攻大学院会
館報	千葉市立郷土博物館
大和絵を今に岩国覚太郎模写展	半田市立博物館
ゼロからのたびだち	広島市こども文化科学館
戦競録	福井市立郷土歴史博物館
史料が語る先人のあゆみ－近世諸家の歴史をたずねて	"
郷土と博物館	鳥取県立博物館
鳥取県立博物館研究報告	"
北綱圏北見文化センター研究報告	北綱圏北見文化センター
川東13遺跡	北海道北見市
辰野町の建造物－II辰野町の民家－	辰野町教育委員会
辰野町の建造物－I 小野宿の町家－	"
'90要覧	北海道開拓の村
栃木県立博物館研究紀要	栃木県立博物館
博物館資料調査報告書2	国立歴史民俗博物館
長野大学紀要第11巻第4号（通巻第44号）	長野大学産業社会学部
姥ヶ原・下原山南・下原山北遺跡（第2次調査）	長野県原村教育委員会
富士市立博物館年報（昭和63年度）第4号	富士市立博物館
博物館を見平成2年度	"
加佐美山1号墳発掘調査報告書	岐阜県教育委員会
国府遺跡II第2次発掘調査概報	山梨県春日居町教育委員会
前度猿尾堤調査報告書	岐阜県教育委員会
柳又遺跡A地点第1次発掘調査報告書	国学院大学文学部考古学研究室
山の前1・2号古墳発掘調査報告書	各務原市教育委員会
樺戸集治監上水道遺跡の調査	北海道開拓記念館
北海道開拓記念館研究年報第16号	"
北に生きた会津武士と農民	"
産業図	"
更科源蔵氏資料目録第22集	"
北海道開拓記念館調査報告書	"
国立歴史民俗博物館研究報告書	国立歴史民俗博物館
" 研究報告第27集	"
考古学と中世史研究資料集	帝京大学山梨文化財研究所
考古学と中世史研究－中世考古学及び隣接諸学から	"
未来への伝言－宮久保遺跡発掘の記録－	神奈川県埋蔵文化財センター
研究紀要第1集1990	日本民俗資料館
立教大学博物館研究	立教大学
貝塚博物館紀要第17号	貝塚博物館
柏原市歴史資料館館報創刊号	柏原市歴史資料館
東京大学文学部考古学研究室紀要第8号	東京大学文学部考古学研究室
大阪市立博物館報	大阪市立博物館

書名	寄贈者
富士相模川泥流と最終氷期 鍬と鍛冶屋1990. 3	相模原市教育委員会
山田横穴D群2号遺跡発掘報告書	静岡県菊川町教育委員会
原段I遺跡	"
原段II・III遺跡	"
山田横穴群E郡1号発掘調査報告書	"
藤丸館遺跡	"
四ツ枝遺跡	"
杉森横穴群D群発掘調査報告書	"
要覧1990	神奈川大学日本常民文化研究所
プラネタリウム番組作品集	熊谷市立文化センター・プラネ館
文化財保護の手引	長野県教育委員会
収蔵資料目録II	大利根博物館
大町市史第1巻 自然環境	大町市
" 第1巻 自然環境資料	"
" 第2巻 原始・古代・中世	"
" 第2巻 原始・古代・中世資料	"
" 第4巻 近代・現代	"
" 第4巻 近代・現代資料	"
" 第5巻 民俗・観光	"
" 第5巻 民俗・観光資料	"
群馬県藤岡市滝前・滝下遺跡	藤岡市教育委員会
C7神明北遺跡C8谷地遺跡本文編	"
" " 図版編	"
年報(4)	"
年報(3)	"
F5藤岡東部地区遺跡群発掘調査報告書	"
小野西部地区遺跡群発掘調査報告書	"
七輿山古墳範囲確認調査報告書V	"
皇子塚古墳範囲確認調査報告書IV	"
福井県産アンモナイト	福井市立郷土自然科学博物館
神奈川県立博物館年報平成元年度	神奈川県立博物館
研究員紀要第4集	千葉県立上総博物館
飛鳥・藤原宮発掘調査概報20	奈良国立文化財研究所
五郎兵衛新田古文書目録第二集	浅科村教育委員会
五郎兵衛新田古文書目録第三集(一)	"
五郎兵衛新田古文書目録第三集(二)	"
五郎兵衛新田古文書目録第四集	"
長野市川中島町調査研究報告	長野経済短期大学
夢の空ヘーツェッペリン伯号と初期航空時代	土浦市立博物館
石造文化財其ノ一—庶民信仰をたずねる—	下諏訪町教育委員会
須坂市の石造文化財その1觀世音・馬頭觀世音	須坂市教育委員会
まつもの石造文化財資料編芳川	松本市教育委員会
まつものの石造文化財資料編岡田	"
東部町の石造文化財	東部町教育委員会
伊那市石造文化財	伊那市教育委員会
武藏の塔婆	町田市立博物館
大町市指定文化財調査書第二集	大町市教育委員会
史跡齊宮跡平成元年度発掘調査概報	斎宮歴史博物館
古代の祈りー祓いの顔ー	"
江戸の街づくりー木曾林業と江戸のかかわりー	目黒区守屋教育会館郷土資料館
NATURAL HISTORY RESEARCH	千葉県立中央博物館
船舶写真目録	小樽市博物館
自然誌研究報告	千葉県立中央博物館

書名	寄贈者
弥生日本陶磁体系	平凡社
殿村・東照寺址遺跡	下諏訪町教育委員会
一の釜遺跡	"
一の釜遺跡2	"
旧御身山遺跡	"
鷹屋深町遺跡発掘調査報告書	太田市教育委員会
つまり俳諧と俳人たち	十日町市博物館
天神山古墳外堀・A陪塚	太田市教育委員会
下宿遺跡F地点	"
市内遺跡VI間之原遺跡VII次	"
市内遺跡VI	"
研究紀要創刊号	飯田市美術博物館
伊那谷の昆虫－ガイドブック－	"
信州の雪国 雪国之心を探る	八十二銀行文化財団
疠山美術館報第II号	疠山美術館
御座目浅間神社古墳	市原市都市部街路課
市原市徒土橋遺跡	"
青柳塚群	市原市文化財センター
研究報告（人文科学）2号	千葉県立中央博物館
研究報告（人文科学）1号	"
松代群発地震資料報告No.27	松代地震センター
運営打合と会議資料	"
水よ！よみがえれ 川中島平水路改修竣工記念誌	川中島平土地改良区
インドシナ半島の陶磁器	町田市立博物館
古墳時代の研究II地域の古墳II東日本	雄山閣出版株式会社
根室市博物館開設準備室紀要第4号	根室市博物館開設準備室
知覧町の民具	鹿児島県川辺郡知覧町教育委員会
信濃国分寺とその時代 古代の寺院	上田市立信濃国分寺資料館
真珠博物館 PEARL MUSEUM	真珠博物館
帝京大学山梨文化財研究所研究報告第2集	帝京大学山梨文化財研究所
研究紀要第13号	名古屋市博物館
尾張の文人画	"
旅と街道	"
八十二銀行50年史	八十二銀行
庄内川流域の古代文化	瑞浪陶磁資料館
北条氏照と八王子城	八王子市郷土資料館
御嵩町史民俗編	御嵩町
〃 史料編	"
〃 通史編下	"
水の中の虫たち	川崎市教育委員会
川崎市青少年科学館年報	"
市民の手による第2次川崎市域の自然調査	"
川崎市青少年科学館紀要	"
一生田緑地の自然観察II－地層観察にでかけよう	"
小山武士団の興亡	小山市立博物館
青梅市史史料集第39号御廻状留帳（上）	青梅市教育委員会
資料青梅市の中世城館跡	"
荷風の散歩	市立市川歴史博物館
福岡市埋蔵文化財センター年報第9号平成元年度	福岡市埋蔵文化財センター
まじないとひながたの祭具	奈良県立民俗博物館
北方民俗資料展	北海道開拓記念館
千葉県立房総風土記の丘年報13	千葉県立房総風土記の丘
私たちのモース日本を愛した大森貝塚の父	太田区立郷土博物館
群馬県立歴史博物館要覧	群馬県立歴史博物館

書名	寄贈者
川瀬巴水旅情詩人大正・昭和の風景版画家	太田区立郷土博物館
古墳文化のあけぼの	野田市郷土博物館
宗良親王南北朝編年史	松尾四郎
近江のオコナイ	市立長浜城歴史博物館
梨の木沢・中道通・御射山沢・梨の木沢西遺跡	長野県原村教育委員会
俳人加舎白雄と門人たち	上田市立博物館
読谷村民話資料集座喜味の民話	読谷村歴史民俗資料館
読谷村立歴史民俗資料館紀要	"
読谷村立歴史民俗資料館年報16号	"
日本書記を掘る	飛鳥資料館
小沼湯滝バイパス関係遺跡発掘調査報告II	飯山市教育委員会
文明開化の光と影福井県／その誕生期	福井県立博物館
信濃教育第869号～第129号	和田 博
信濃教育会要覧 昭和57年度・昭和58年度・昭和60年度・昭和61年度	"
学校時報（30部）	"
かな書展 渡辺柱華の世界	半田市立博物館
九州歴史資料館年報平成元年度	九州歴史資料館
中野市埋蔵文化財緊急発掘調査報告書 風巻 桜沢	中野市教育委員会
沼田藩土伎時代の歴史と文化	群馬県立歴史博物館
寿能城と戦国時代の大宮	大宮市立博物館
若林忠一遺稿追憶誌	同刊行委員会
研究論集15 1990	九州歴史資料館
中国前漢「精白鏡」の銘文について（資料）	秋田大学 石田三佐男
南部と伊達の境争い	北上市博物館
ふねと信仰	福井県立若狭歴史民俗博物館
莊園絵図の世界	和歌山市立博物館
魅惑の日本海文化	石川県立歴史博物館
聖川の自然と文化	井堀五郎
火縄銃関流砲術の冴えと奥義	土浦市立博物館
山陰道の考古学	丹後郷土資料館
小松の伝統美術工芸展	小松市立博物館
岐阜市歴史博物館年報No.4	岐阜市立歴史博物館
研究紀要4	岐阜市歴史博物館
秋田県立博物館研究報告第15号	秋田県立博物館
プラネタリウム学芸報No.3	千葉市立郷土博物館
鷺城跡	栃木県小山市教育委員会
古代の出雲と吉備・大和	八雲立つ風土記の丘資料館
昭和63年度市立市川考古博物館年報	市立市川考古博物館
王朝文化の美伊勢物語の世界	齊宮歴史博物館
第2回特別展川越の指定文化財	川越市立博物館
横田健一先生古稀記念文化史論叢上	飯島哲也
東北歴史資料館年報平成元年度	東北歴史資料館
第33回企画展中世への旅	栃木県立博物館
むしくら風土記虫倉神社と廣福寺	虫倉神社史編集委員会
自由美術'90	自由美術協会
静岡市ゆかりの画家たち	静岡市教育委員会
自由展	自由美術協会
下野の古瓦－三毳山麓の窯跡瓦－	佐野市郷土博物館
郷土博物館概要	"
佐野の歴史－原始から近代化－	"
幼少時代思い出の記	豊田市教育委員会
わが理想の英國女性たち	"
牧野義雄展	豊田市郷土資料館
彦根屏風と遊楽の世界	彦根城博物館

書名	寄贈者
釧路市立博物館館報No323	釧路市立博物館
小松均展－氷見に残る作品を中心にして－	氷見市立博物館
千葉県文化財センター年報No15	千葉県文化財センター
長野大学紀要第12巻第1号（通巻第45号）	長野大学産業社会部
南蛮の美術－異国にあこがれた武将たち－	埼玉県立博物館
連歌師宗祇－その生涯と終焉の地箱根湯本－	箱根町立郷土資料館
土浦市立博物館紀要第2号	土浦市立博物館
土浦市立博物館年報第3号	"
萩市郷土博物館研究報告第4号	萩市郷土博物館
カタツムリの不思議－萩地方の陸産貝－	"
喜多見氏と喜多見流茶道	世田谷区立郷土資料館
飯田市美術博物館年報創刊号	飯田市美術博物館
土浦の歴史と文化	土浦市立博物館
石川県立歴史博物館展示案内	石川県立歴史博物館
溜ノ台遺跡	栃木県教育委員会
下野国府跡Ⅳ土器類調査報告	"
矢板市成田窯業遺跡発掘調査報告	"
鹿島勝遺跡追の雍遺跡	"
下野国分寺跡V 昭和62年度発掘調査概報	"
下野国分寺跡VI 昭和63年度発掘調査概報	"
一般国道4号（新4号国道）改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査の経過	栃木県文化振興事業団
郭内遺跡松香遺跡	栃木県教育委員会
栃木県文化振興事業団年報平成元年度	栃木県文化振興事業団
栃木県埋蔵文化財保護行政年報（S62）	栃木県教育委員会
富士吉田の昔話・伝説・世間話	富士吉田市郷土館
ふるさとの形富士吉田の民具	"
天然記念物（植物）調査報告書	"
古屋敷遺跡発掘調査報告書	古屋敷遺跡調査団富士吉田市史編纂室
歴史と民俗	神奈川大学日本常民文化研究所
福井県立博物館年報	福井県立博物館
越水山遺跡発掘調査報告書	西宮市教育委員会
絵馬と農具にみる近代	板橋区立郷土資料館
近江亀山藩大庄屋記録九々五集	亀山市教育委員会
亀山市の文化財	"
走り下城跡亀山市大岡寺町鈴鹿郡関町倉下	"
茨城県立歴史館報17	茨城県立歴史館
埋蔵文化財発掘調査概要VI	三重県埋蔵文化財センター
山下地区文化財調査報告	亀山市教育委員会
亀山市中庄町光於堂光於堂遺跡	"
柴戸古墳柴戸古墳発掘調査概要	"
亀山市山下町沢遺跡I	"
第8回特別展古墳時代が聞こえる	山梨県立考古博物館
民具実測図の方法III－生活用具－	神奈川大学日本常民文化研究所
読谷の文化第4集ムラアシビ	読谷村教育委員会
吹出原遺跡個人住宅建築に伴う緊急発掘調査報告書	沖縄県読谷村教育委員会
本郷役場古墳群	群馬県埋蔵文化財調査事業団
特別展白樺の美術「白樺」創刊から80年	調布市武者小路実篤記念館
昭和の日本画－戦後日本画の新たなる展開－	石巻文化センター
データベース利用申請の手引き	国立歴史民俗博物館
日本研究第3集平成2年9月	国際日本文化センター
河南省文物展事業報告	斎宮歴史博物館
袋低地遺跡－自然科学編1・2－	東北新幹線赤羽地区遺跡調査
長野県民俗関係文献目録第3集	長野県史刊行会
平林民俗誌稿	長野県史刊行会

書名	寄贈者
坂部民俗誌稿	"
県境を越えて第3集	"
第4集	"
第2集	"
第1集	"
愛新覺羅浩展	杉並区立郷土博物館
佐倉考古展旧石器から弥生まで	佐倉新町資料館
写真で綴る多摩100年	多摩市文化財団
雑木林と人々のくらし	"
川崎市市民ミュージアム紀要第2集	川崎市市民ミュージアム
仏教文化の聖地・大津	大津市歴史博物館
事業概要平成元年度	板橋区立教育科学館
水辺環境	水辺の会
小山市立博物館第7号平成元年度版	小山市立博物館
中里塙上遺跡田端西台通遺跡	東京都北区教育委員会
岐阜県の仏像	岐阜県博物館
松東遺跡II	浜松市文化協会
常盤地域に分布する新第三系の地質時代と堆積環境	福島県立博物館
日本の歴史と文化展示案内	国立歴史民俗博物館
国立歴史民俗博物館要覧	"
再現・古代の豪族居館	"
長岡市立科学博物館研究報告第25号	長岡市立科学博物館
檀原考古学研究所年報15	奈良県立檀原考古学研究所
太古の足音	岡谷市公民館学習グループ
鳴神IV・V遺跡発掘調査報告書H2・3	和歌山市文化体育振興事業団
山口遺跡第5次発掘調査報告書	和歌山市教育委員会
東川端遺跡県道弁財深谷線関係埋蔵文化財発掘調査報告	埼玉県埋蔵文化財調査事業団
県道東松山桶川線関係埋蔵文化財調査報告書	"
雜渠谷遺跡県立蓮田養護学校関係埋蔵文化財発掘調査報告書	"
荒川村下段遺跡	" "
北島遺跡(第9、10、11地点)	" "
坂戸市広面遺跡	" "
玉太岡遺跡	" "
狹山市八木上遺跡	" "
北足立郡伊奈町大山遺跡	" "
深谷市新田裏・明戸東・原遺跡	" "
坂戸市金井遺跡	" "
年報-10-平成元年度	" "
研究紀要第7号1990	" "
東海大学校地内遺跡調査団報告1	東海大学高地内遺跡調査委員会
公園関係埋蔵文化財調査報告書1	福岡市教育委員会
都地・七反田遺跡	"
福岡市有田・小田部第11集	"
生松台	"
福岡市橋本一丁田遺跡	"
原遺跡3-原遺跡群第10次調査の報告-	"
博多福岡市埋蔵文化財調査報告書第221集	"
福岡市早良区原遺跡4-第12次調査の報告-	"
筑前国福岡城三ノ丸御櫓屋敷(図録編)	"
埋蔵文化財年報Vo1. 3 1988年度	"
博多14福岡市埋蔵文化財調査報告書第229集	"
藤崎遺跡V	第232集
野間B遺跡	第231集
大塚遺跡女原遺跡	第224集

書名	寄贈者
博多15 " 第230集	"
那珂2 " 第222集	"
入部1 " 第235集	"
東アジアと日本特別考古学講演集	福岡市埋蔵文化財センター
湯納遺跡福岡市埋蔵文化財調査報告書第225集	福岡市教育委員会
田村遺跡-VI- " 第216集	"
脇山1 " 第236集	"
席日遺跡(IV) 埋蔵文化財調査報告書第218集	"
戸原麦尾遺跡 " 第217集	"
比恵遺跡群(9) " 第227集	"
博多13 " 第228集	"
アジアとの交流-鴻臚館跡出土貿易陶磁器	"
研究紀要5	和歌山市立博物館
90要覧	北海道開拓記念館
豊城の至芸	一宮市博物館
和歌山市立博物館館報	和歌山市立博物館
豊橋市自然史博物館年報第2号	豊橋市自然史博物館
貝類の世界	"
沢遺跡発掘調査報告書II	亀山市教育委員会
備後表-疊の歴史を探る-	広島県立歴史博物館
瀬戸内の塩	"
千曲川-犀川 洪水の歴史	建設省北陸地方建設局
千曲川の今昔 I 千曲川の自然	"
千曲川の今昔 II 荒れる千曲川と瀬直し	"
千曲川の今昔 III 用水と上下水道	"
千曲川の今昔 IV 渡船と通船	"
千曲川の今昔 V 自然堤防と人工堤防	"
千曲川治水誌	"
博物館-展示案内-	広島県立歴史博物館
信濃川百年史	千曲川工事事務所
総合調査報告書VII	沖縄県立博物館
沖縄県立博物館年報No.23	沖縄県立博物館
沖縄県立博物館紀要第16号	沖縄県立博物館
とくまの歴史	徳間小学校
歴博44 1990年12月	国立歴史民俗博物館
田中邦雄教授退官記念論文集	田中邦雄教授退官記念事業会
星空通信 冬 第24号	北本市文化センター
人々木に今、生きる1989木曾リポート	武藏大学人文学部
那須の遺跡-渡辺龍瑞先生寄贈資料目録第2集-	栃木県立博物館
富山藩関係文書〔武家文書〕加藤文書目録	富山市郷土博物館
長野県石碑目録石碑所在調査報告書	長野県教育委員会
芦品郡新市町大森遺跡の試掘調査	新市町教育委員会
はかりの文化展	富山市郷土博物館
田能資料館図録	尼崎市立田能資料館
史跡松代城跡附新御殿跡修理工事報告書	長野市
府中市郷土の森年報第4号(平成元年度)	(財)府中市郷土の森事業団
博物館に対する市民の意識調査	富士市立博物館
曾我物語	富士市立博物館
中山道板橋宿平尾宿-脇本陣豊田家	板橋区立郷土資料館
松代城跡-平成元年度発掘調査概報	長野市教育委員会
平岡環境科学研究所報告No.1・3	平岡環境科学研究所
斎宮をめぐる人々斎宮女御とその時代	斎宮歴史博物館
館蔵俳諧資料目録	岐阜県歴史博物館
埋蔵文化財発掘調査報告書	松阪市教育委員会

書名	寄贈者
松東遺跡発掘調査報告書	浜松市文化協会
有玉町有玉西土地区画整理事業に伴う文化財調査概要	"
博物館実習報告第6号(1990年度)	お茶の水女子大学学芸員課程
氷見の民俗	氷見市教育委員会
松井文庫所蔵品調査報告書(二)	熊本県立美術館
松本盆地の生いたちをさぐる	田中邦雄
赤煉瓦の記	福岡市立歴史資料館
研究紀要No.13	半田市立博物館
篠ノ井遺跡群Ⅲ中部電力北信坂城線鉄塔地点長野市営塙崎体育館地点	長野市教育委員会
古墳出現のなぞー激動の世紀に迫るー	栃木県立博物館
おかね百態ー埼玉銀行コレクションを中心にして	埼玉県立博物館
福島関所(2次調査)ー江戸ロマンふるさとづくり事業とともに調査報告書	木曾福島町教育委員会
年報平成元年度No.13	名古屋市博物館
古代の装身具・玉ー鳥山玉作り遺跡とその周辺	土浦市立博物館
彦根・清涼寺の美術	彦根城博物館
岩手県立博物館10年のあゆみー開館10周年記念誌	岩手県立博物館
福島美術館優品図録	社会福祉法人共生福祉会
邪馬台国へのみち	岡山県立博物館
再発見安城の文化財	安城市歴史博物館
館蔵優品図録	岡山県立博物館
長野県の諸職ー長野県諸関係民俗文化財調査報告書ー	長野県文化財保護協会
天竜川歴史の道調査報告書	"
維新前夜の地方文人	一宮市大和町妙興寺
文政十二年徳山分家領騒動記録	各務原市歴史民俗資料館
木製品の世界	知立市歴史民俗資料館
長野大学紀要第12巻第2号(通巻第46号)	長野大学産業社会学部
犬養毅と尾崎行雄特別展展示目録	憲政記念館
館蔵品展ー氷見にゆかりの作家たちー	氷見市立博物館
とよのむかしばなし第1集	豊野町公民館
房総考古学ライブリー5古墳時代(1)	千葉県文化財センター
年報平成元(1989)年度	広島県立歴史民俗資料館
福井市立郷土自然科学博物館研究報告第37号	福井市立郷土自然科学博物館
研究連絡誌第30号	千葉県文化財センター
研究連絡誌第29号	"
研究紀要12	"
日本の新生代生物群ー時空分布と系統を中心にして	瑞浪市化石博物館
瑞浪市化石博物館研究報告第17号	瑞浪市化石博物館
弥生の美	大阪府立弥生文化博物館
天狗沢瓦窯跡発掘調査報告書	山梨県敷島町教育委員会
陶器の流れ須恵器から渥美・常滑・瀬戸へ	名古屋市博物館
稻作における農機具の変遷	農林水産技術会議事務局
斎宮歴史博物館年報1990.7.10	斎宮歴史博物館
川越市立博物館要覧第2号	川越市立博物館
府中市郷土の森紀要第4号	府中市郷土の森
御雛(一)	成巽閣
プラネタリウムNo.3	千葉市立郷土博物館
吉田公民館郷土資料室収蔵品目録	長野市立公民館
佐野市郷土博物館年報平成元年度	佐野市郷土博物館
東洋大学博物館学年報	東洋大学博物館
昆沙門台東遺跡発掘調査報告	広島市教育委員会
小林遺跡A・B地点遺跡発掘調査報告	"
研究集録第27号	小樽市青少年科学技術部
仁田遺跡暮井遺跡	群馬県教育委員会
飯土井二本松遺跡下江田前遺跡	群馬県教育委員会

2) 自然資料

項目	資料名	数量	寄贈者(敬称略)
化石	ステゴドンゾウ臼歯	1	亀井節夫
	二枚貝(100種類)	936	田中邦雄
	巻貝(39〃)	172	"
	腕足類	6	"
	棘皮類	19	"
	その他	5	"
	二枚貝(84種類)	441	宮下勝
	巻貝(34〃)	59	"
	腕足類	4	"
	棘皮類(3〃)	9	"
	蔓脚類(1〃)	3	"
岩石・鉱物	その他	3	"
	堆積岩(40種類)	136	田中邦雄
	火成岩(28〃)	86	"
	變成岩(11〃)	40	"
現世貝	鉱物(79〃)	301	"
	二枚貝	77	宮下勝
	巻貝	61	"
地震	ユーリング式地震計	一式	唐鎌郁夫(東京都)
	石本式地震計	"	"
	電磁式地震計	一台	"
天文	16mm映画「地球は生きている」	1巻	藤森治幸(安茂里)
	太陽写真(ガラス乾板)1938年	4枚	田中静人(望月町)
	プロミネント観測装置	1	"

3) 歴史資料

資料名	数量	寄贈者(敬称略)
川中島合戦地図	1	滝沢一広(小島田町)
入湯税について	1	"
甲越信録2・3・4・7・8	5冊	佐枝藤静子(荒木町)
真田三代記3-4、5-6	2	"
赤穂義士伝1-2、9-10	2	"
算額稽古大全	1	"
古典籍	3箱	藤本光禪(篠ノ井)
戸(古文書)	2	渡辺尚(川中島町)
萬代大雑書古今大成	1	竹前今朝治(川中島町)
古易学大全	1	"

4) 民俗資料

資料名	数量	寄贈者
鹿野勇之進従軍関係	一括	鹿野 杉男(浅川)
二重飯合	1	内山 真治(篠ノ井)
写真週報	90枚	"
同盟ニュース他	1,000枚	"
唐 箕	1	酒井 将(塩生)
馬 鞍	2	"
す き	1	"
消毒用ポンプ昭和20年代	1	八田 勝行(若槻)
虫おくりかご	1	東横田育成会鳥羽利夫(篠ノ井)
クワキリ庖丁	1	林 俊秋(七二会)
クワキリ台	1	"
レコード	5枚	中沢 正明(松代町)
箕	1	関屋忠一郎(松代町)
クワコキ	1	"
ガニズメ	1	"
ス キ	1	"
かつぎ棒	1	"
魚取り用 筐	1	北村 俊喜(更埴市)
魚取り用 箕	1	"
魚保存箱	1	"
軍靴	1	滝澤隆太郎(高田)
軍服	1	"
ランプ(旧国鉄)	1	"
ネズミトリ	1	"
教科書他	5	"
葉書	2	"
鉄かぶと	1	"
水筒	1	"
リソーグラフ印刷機	3	青木 一幸(川中島町)
足踏式フイゴ	1	"
電圧調整器	1	"
運搬具	2	小林 茂(松代町)
糸つむぎ機	1	"
ワラウマ	2	森山 公一(信濃町)

5) 考古資料

資料名	数量	寄贈者(敬称略)
安庭遺跡出土土器		島田ちづ枝(信更町)

3 寄託資料

資料名	数量	寄託者
面 青木家文書	3	川中島町四ツ屋区
妻科庚申講用具	一括 一式	青木十郎（稻里町） 妻科庚申講中

IV 博物館管理運営

1 平成2年度歳出当初予算概要

(単位:千円)

内訳 節	予算額	一般的経常費	施策的経常費					投資的 経費
			地図展	蚕糸業展	化石・岩石展	プラネタリウム	各種事業	
(1)報酬	2,145	2,145						
(2)給料	24,813	24,813						
(3)職員手当	14,908	14,320	24	150		240	174	
(4)共済費	7,015	7,015						
(7)賃金	14,464	13,043		655	60	193	513	
(8)報償費	816	110		415	75		216	
(9)旅費	655	330		276	20		29	
(11)需用費	30,985	25,794						
(消耗品費)	3,455	2,558	62	175	25	185	450	
(燃料費)	3,165	3,165						
(食糧費)	100	60	10	20	5		5	
(印刷製本費)	7,696	3,534	233	1,074	239	846	1,770	
(光熱水費)	14,795	14,795						
(修繕料)	1,764	1,672				92		
(医療材料費)	10	10						
(12)役務費	6,186	5,468		718				
(13)委託料	20,310	15,937	205	738	250	1,014	48	2,118
(14)使用料及び賃借料	2,287	1,443		80			30	
(15)工事請負費	6,410	280		200		160		5,770
(16)原材料費	213	0	30	100	50		33	
(18)備品購入費	9,127	2,023				344	170	6,590
(19)負担金及び交付金	73	73						
(27)公課費	9	9						
計	140,416	112,803	564	4,601	724	3,218	4,028	14,478

各種事業…教室・講座・収蔵資料整理・調査研究・マイクロフィルム化・移動博物館

2 管理業務（役務費・委託料）

(単位：千円)

名 称	金 額	
自家用電気保安点検	438	
エレベーター保守点検	606	
警備業務（本館）	433	
〃（分館）	198	
プラネタリウム保守点検	840	
ターボン冷凍機保守点検	567	
展示模型映像機器保守点検	562	
空調設備自動制御保守点検	93	
くん蒸装置保守点検	66	
消防用設備点検（分館）	70	
し尿浄化槽法定検査	10	
空調設備等管理	5,871	
し尿浄化槽管理	618	
清掃業務（本館）	6,050	
〃（分館）	1,250	
庭園管理	450	
くん蒸業務	1,350	
空調機器（冷暖房）（分館）	78	
合 計	19,550	

3 利用状況

1) 資料の館外貸出

貸出番号	貸 出 先	資 料 名	点数
2-1	諏訪市教育委員会	弥生時代後期土器ポジフィルム	1
2	〃	〃 実測図	1
3	虫倉風土記の会（佐藤甲子博）	長勝寺仁王像紙焼き	2
4	上田市立信濃国分寺資料館	浅川扇状地遺跡群ほかの瓦など	18
5	〃	〃 遺物出土状態紙焼き	4
6	松本市立考古博物館	伊勢宮遺跡 石鍬・土器・玉	42
7	〃	箱清水式土器（旧国鉄貨物基地、神楽橋）	3
8	長野市立篠ノ井東小学校	座繩、真綿木枕	8
9	吉野町保健福祉課	石器づくりビデオテープ	1
10	長野市立西部中学校	天文スライドフィルム	
11	穂高町教育委員会	石器づくりビデオテープ	1
12	川崎市堀越高等学校	川中島合戦図屏風などの紙焼き	23
13	長野市立徳間小学校	駒沢祭祀遺跡遺物出土状況など紙焼き	2
14	学習研究社	箱清水式土器セットなどのポジフィルム	2
15	長野県短期大学（成澤栄寿）	和田英ほか紙焼き	2
16	大阪府立弥生文化博物館	伊勢宮遺跡などの土器及び紙焼き・ネガフィルム	14
17	長野清泉女学院高等学校	飼い葉桶	1
18	餌アイデスク	博物館全景などスライドフィルム	2
19	餌フォーラム游	善光寺瓦（軒平・軒丸）紙焼き	2
20	餌長野放送	「神靈散」看板ほか	4

2) 資料等の特別利用

利用番号	申 請 者 名	利 用 資 料 名	点数	利 用 の 方 法	利 用 月 日
2-1	篠原 正明（長野市）	土器		スケッチ	5月30日
2	平 凡 社	神楽橋・平柴台・伊勢宮遺跡弥生土器	17	写真撮影・掲載	6月25日
3	大沢由美子（長野市）	常設展示		〃	7月8日

4	中村 柳治（小布施町）	松代町絵図		1	写真撮影・掲載	7月27日
5	柳沢 志政（長野市）	土器		"		8月5日
6	湯浅 克昭（千葉市）	川中島の戦い		"		8月9日
7	堀江 洋史（〃）	"		"		"
8	森 忠俊（長野市）	花火		"		8月16日
9	高野 勝也（大田区）	建物内部		"		8月17日
10	山崎 佐織（奈良市）	"		"		"
11	庭 順明（長野市）	背負子	1	"		8月28日
12	松本 恒（千代田区）	地図		"		9月9日
13	長野市立徳間小学校	豎穴住居・上ヶ屋遺跡石器など	8	" • 掲載		"
14	土屋 志一（可児市）	合掌形石室	1	"		10月6日
14	諏訪部五郎（八王子市）	三河屋商店模型	1	"		11月24日
15	新谷 武夫（広島市）	円頭大刀（湯谷）・素環頭大刀（保科）	2	写真提供		"
16	松見 陽介（坂戸市）	常設展示室		写真撮影		11月29日
17	テレビ信州	和田英・富岡日記など		ビデオ撮影・放送		12月11日
18	紀行社	善光寺瓦・蹄脚覗	2	写真撮影・掲載		12月18日
19	信濃毎日新聞社文化部	千歯こき・唐箕・道祖神など	6	"		1月9日
20	鳥海 陽子	土器		スケッチ		1月11日
21	芝田 栄子	"				1月29日
22	上村 廣志（中野区）	建築物		写真撮影		2月10日
23	銀河書房	三河屋模型・西町屋台ほか	3	" • 掲載		2月14日
25	遠山 高志（南木曽町）	常設展示		"		2月15日
26	中村 由克（野尻湖博）	"（民俗）		"		2月19日
27	日本テレビ	川中島合戦陣取図		ビデオ撮影・放送		3月23日

4 情報・案内

1) 情報掲示板の設置

公園内に掲示板が2ヶ所設置されているが、あまり効果的な場所になく、またトータルな情報をもることができないなど多くの不備がみられるので、まず事務室前の博物館への導入部に情報掲示板を設置した。この掲示板には常設展示室・プラネタリウム・茶臼山自然史館・教室・講座・特別展等の最新情報が1つの掲示板にもりこまれている。

2) ポスター掲示板の設置

既存の2か所の掲示板は公園西側に位置し、公園内の散策路には博物館情報が全くないため、ポスター専用の掲示板を2か所に設置した。公園内の林の中という空間を考慮して、背が低く薄い掲示板とした。

3) 建物外壁へのクビナガリュウ像の設置

茶臼山自然史館は、恐竜公園に隣接して建てられているが、案内が不備のため、建物自体が一般の人に何だかわからないという声が多々聞かれた。そのため、正面外壁にクビナガリュウの像を描き、「茶臼山自然史館」の文字も合わせて表示した。

3 入館者状況

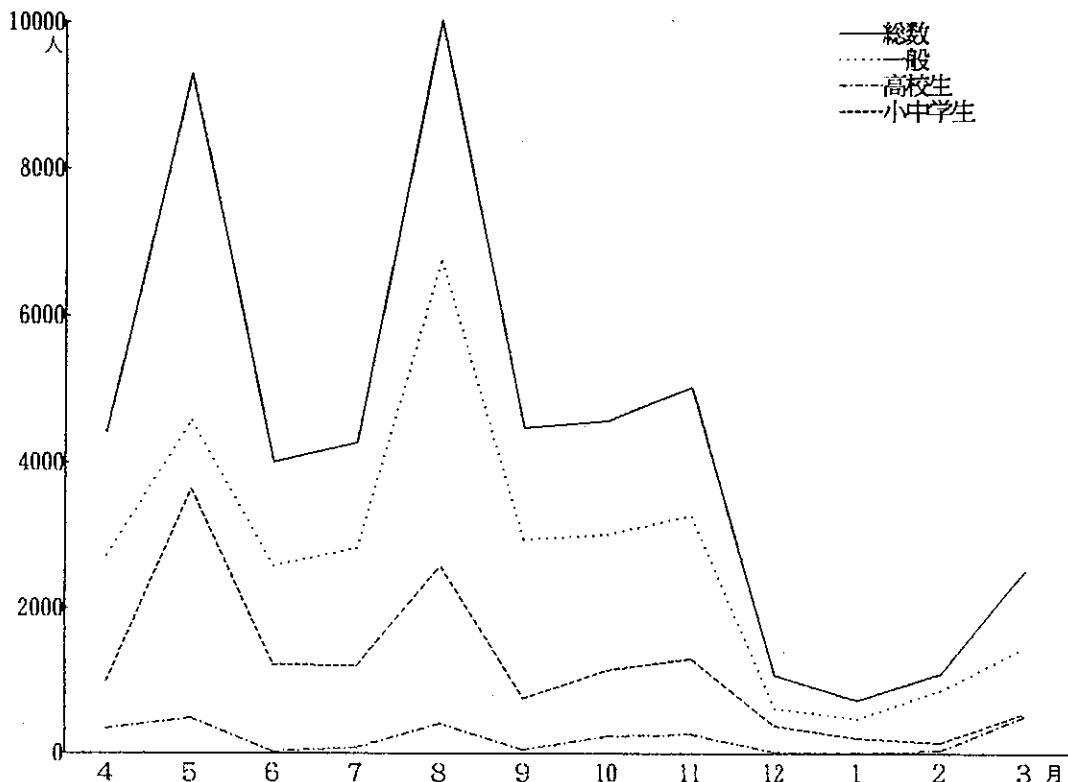
(平成2年4月～平成3年3月)

1) 博物館常設展示

常設展示月別入館者数

区分 月	個 人			団 体			合 計			観察等	総合計	開館日数	一日平均
	一 般	高 校 生	小 中 学 生	一 般	高 校 生	小 中 学 生	一 般	高 校 生	小 中 学 生				
4	2,055	68	746	669	277	252	2,724	345	998	347	4,414	26	170
5	3,299	145	901	1,282	353	2,742	4,581	498	3,643	588	9,310	26	358
6	1,551	25	313	1,022	13	900	2,573	38	1,213	179	4,003	26	154
7	1,883	84	418	928	0	785	2,811	84	1,203	160	4,258	26	164
8	5,301	416	2,248	1,447	0	332	6,748	416	2,580	282	10,026	28	358
9	1,516	58	466	1,413	0	287	2,929	58	753	718	4,458	26	171
10	1,477	39	422	1,521	205	723	2,998	244	1,145	170	4,557	25	182
11	1,659	43	350	1,601	226	942	3,260	269	1,292	189	5,010	26	193
12	632	27	145	0	0	239	632	27	384	34	1,077	24	45
1	482	24	169	5	0	51	487	24	220	2	733	17	43
2	828	44	146	40	0	0	868	44	146	31	1,089	24	45
3	1,381	85	515	46	418	28	1,427	503	543	27	2,500	26	96
計	22,064	1,058	6,839	9,974	1,492	7,281	32,038	2,550	14,120	2,727	51,435	300	171

常設展示月別入館者数

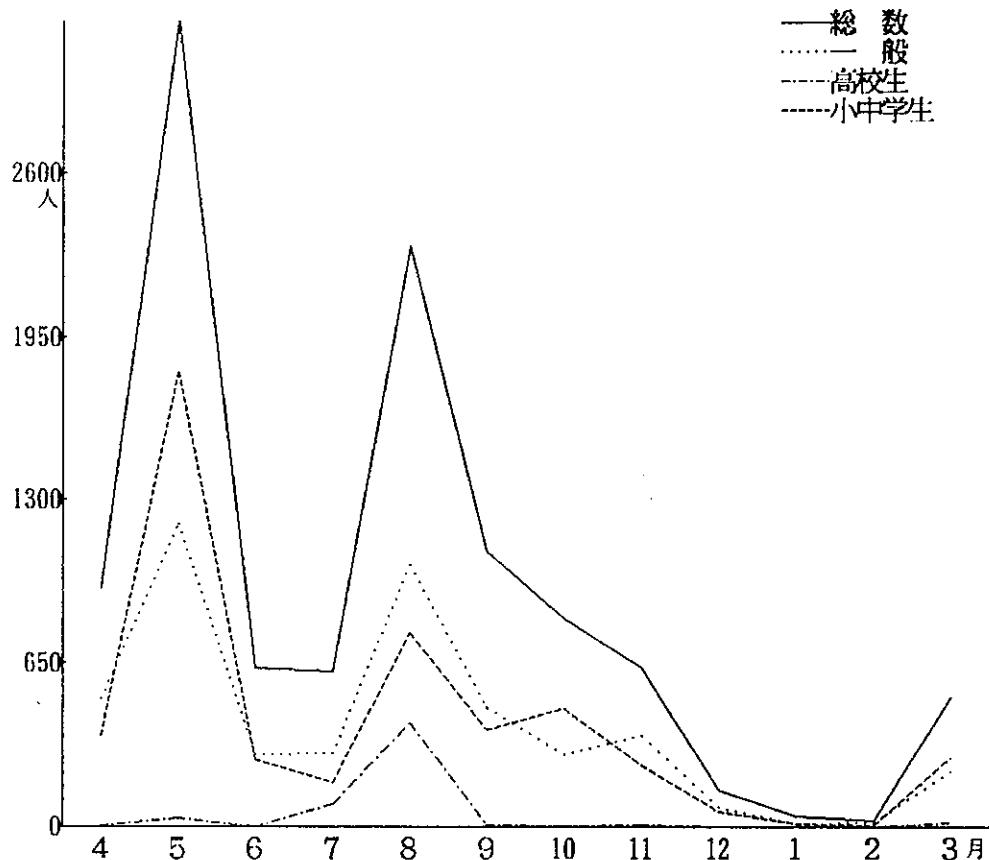


2) 自然史館常設展示

常設展示月別入館者数

区分 月	個 人			団 体			合 計			視察等	総合計	開館日数	一日平均
	一 般	高 校 生	小 中 学 生	一 般	高 校 生	小 中 学 生	一 般	高 校 生	小 中 学 生				
4	507	7	363	0	0	0	507	7	363	71	948	26	36
5	1,188	35	666	17	0	1,146	1,205	35	1,812	146	3,198	26	123
6	255	2	175	33	0	92	288	2	267	72	629	26	24
7	284	90	165	8	0	12	292	90	177	54	613	26	24
8	1,044	415	772	0	0	0	1,044	415	772	83	2,314	28	83
9	344	11	186	132	0	199	476	11	385	219	1,091	26	42
10	285	5	262	0	0	210	285	5	472	66	828	25	33
11	322	10	180	42	0	64	364	10	244	12	630	26	24
12	70	3	51	10	0	10	80	3	61	4	148	24	6
1	15	0	15	0	0	0	15	0	15	14	44	23	2
2	20	0	5	0	0	0	20	0	5	1	26	24	1
3	216	16	217	3	4	59	219	20	276	2	517	26	20
計	4,550	594	3,057	245	4	1,792	4,795	598	4,849	744	10,986	306	36

自然史館常設展示月別入館者数



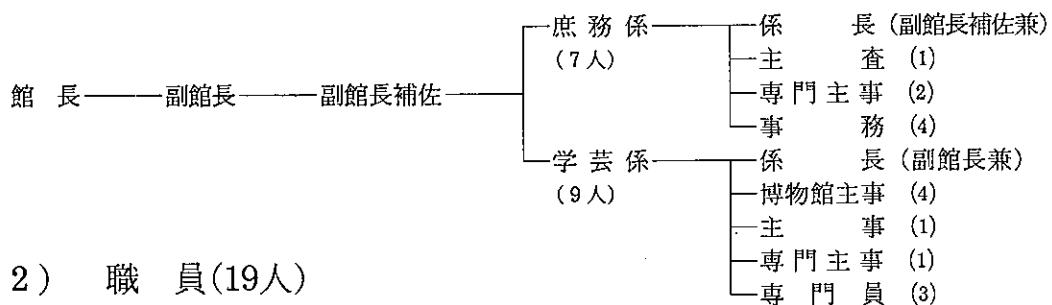
2) 協議会審議経過

平成3年3月1日開催

- (1) 会長・副会長選出
- (2) 平成2年度事業について(報告)
- (3) 平成3年度事業計画について
- (4) その他

2 組 織

1) 組織図



2) 職員(19人)

館長	田中邦雄
副館長	羽田収
副館長補佐	原正人
庶務係長	(原正人)
主査	石坂きよ
専門主事	薮崎巖
専門主事	常盤真重
事務	楠川百年
事務	佐藤令子
事務	坂口昭三(自然史館)
事務	両角和子(〃)
学芸係長	(羽田収)
博物館主事	山口明(学芸員、考古)
博物館主事	大藏満(〃、天文)
博物館主事	唐沢茂(〃、地質…自然史館)
博物館主事	原田和彦(〃、歴史)
主事	前島卓(考古)
専門主事	塩入清嗣(地質、自然史館)
専門員	藤森治幸(学芸員、歴史)
専門員	和田博(歴史)
専門員	井堀五郎

(平成2年4月1日現在)

年 報 VOL. 9

—平成2年4月～平成3年3月—

発行 平成4年3月31日

編集 発行 長野市立博物館

長野市小島田町八幡原史跡公園内
☎ 0262 (84) 9011

印刷 西沢印刷株式会社
